人文会ニュース

1996.4

〈人文書講座 34〉

し\じめ雑感 ………事修大学 岡村達也

一 あるいは妄言、世迷言

阪神地区研修旅行 特集

旭屋書店天王寺 Mio 店(24) 駸 Q 堂 神 戸 三 宮 店(25)

ジュンク堂書店姫路店(27) 紀伊國屋書店加古川店(29)

トーハン近畿トライスセンター(14) 日販西日本流通センター(17)

大阪屋関西ブックシティ(19) = 省 堂 書 店 梅 田 店(23)

出版物再販制度の必要性

――「中間報告書」への反論

………(社)日本書籍出版協会

(社)日本雑誌協会



〇最新刊〇

手あそび の世界

(収録曲)

ぞうさん いぬのおまわりさん にんげんていいな あおいそらにえをかこう

すうじのうた 勇気100% 切手のないおくりもの ITS A SMALL WORLD

日本語のおけいこ

楽しく歌える手話歌集 第二弾

幼稚園や保育所のお遊戯に、 「手あそびうた」感覚で、手話 を取り入れてみませんか。

A5判・定価1600円 藤野信行著・長野雅男手話助言・東樹美智子イラスト

東京·文京 小石川 1-3

村出版 福 *定価は税込*

電話 (03) 3813-3981

とは

何

か

金田章裕•石上英一•鎌田元一•栄原永遠男 一わが国初の総合的な古代荘園図 景観に立脚した研究の実施と、 りなど多面的・学際的に分析する。また、 を目指し、古代の土地制度や社会構造とのかかわ にかかわる情報を網羅し、 本書は、 現存する八・ t (世紀の古代日本の古地図 その性格や特性の解明 その記録をとどめ

ることをも目的とした。

B5判・六〇〇頁/一

四四二〇円(税込

現地

東京大学出版会

東京都文京区本郷7-3-1 203(3811)8814

つつ述べた画期的な入門書。 史とその意義を啓蒙主義からポスト構造主義に至る思想家の論点を紹介し 近・現代思想の鍵概念であるイデオロギー。その意味と役割の変遷、批判の歴 テリー・イー グルトン/訳=大橋洋 文化構造日米摩擦の権力

日米関係の基調はなぜすれ違いか。その根底にある西洋中心主義、自民族中 マサオ・ミヨシ著/佐復秀樹訳

日本文化批評を展開する

心主義等を抉出し、中心主義をはずした観点から、痛烈な日米関係批判、 定価3、800円(税込)

東京都目黒区碑文谷5-16-19 〒152 ☎03-5721-1234 振替・00180-0-29639

定価3、フロロ円(税込)

本評論社

定価2000円

<u> 破防法ってどんな法</u> 律なのか?私たちに とってどのような意味があるのか? オウムに適用されるからよいのか? 民主主義 社会を守るための多角的な視点を提供。

ハナマルコンサルタント 細田咲江 上田晶美 著

四六判 定価1236円

を溶かした100人 の熱い夏

氷河期といわれた1995年、 就職を目指し てハナマル・セミナーに会した女子学生 の奮闘ぶりを生き生きと描く。

東京都豊島区南大塚 3-12-4 ぐ03-3987-8621

〈人文書講座34〉

いじめ雑感

―あるいは妄言、世迷言

專修大学助教授 岡村達也

- 今のいじめ熱の始まり

論されるようになった初まりであると言われる。けを殺そうと思っていたという。これが今のいじめが議ており、恨んで殺そうとした。実は被害を免れた一人だうちに事件が発覚した。前二者は後四者からいじめられ殺害、二人に重傷を負わせ、もう一人には手を下せない殺害、二人に二月、滋賀県で中三の二人が同級生一人を一九七八年二月、滋賀県で中三の二人が同級生一人を

れを教師に訴えていたが、報復されてからこのことにつ分のように扱われ暴行を受け金銭を要求され、初めはこ

ごっこでは教師、生徒らが寄せ書きをするなどし、「この

い走り、鞄持ちなどをさせられ、前年に行われた葬式

まままじゃ『生きジゴク』になっちゃうよ」と遺書を残

八五年九月、福島県で中三が自殺した。同級生から子

年も経たない八六年二月、東京都の中二が自殺した。使たとして、訴えを起こした(佐瀬、九二年)。それから半であり、学校は安全を保持すべき義務があるのに看過しれるなどし、自殺した。家族は、いじめを苦にした自殺告白したが、これに対する報復や両親が学校に呼び出さされて教室荒らしをしていたところを見つかり、事実をされて教室荒らしをしていたところを見つかり、事実をされて沈黙ないし否定するようになった。が、金銭を強要いて沈黙ないし否定するようになった。が、金銭を強要いて沈黙ないし否定するようになった。

じめに関する出版のピークが一つある。した(朝日新聞、八六年。豊田、九四年)。この前後にい

九〇年末、福島の事件に判決が出た。裁判所は、いじめと自殺の因果関係、学校側の安全保護義務違反を肯定し、自殺についての予見性の要否については、「心身に危し、自殺についての予見性の要否については、「心身に危い。」とした。また東京の事可能性があったことを要しない」とした。また東京の事可能性があったことを要しない」とした。また東京の事可能性があった九〇年度は二万四千件。この間のいじめ発生件数(正確には認知件数)一五万五千に対して、め発生件数(正確には認知件数)一五万五千に対して、め発生件数(正確には認知件数)一五万五千に対して、は関する出版量から見ても、いじめ熱は去ったかにも感じられた。

士の洞察は第三者の善意をはるかに凌駕している。九三りこにする事件が起きた。現場に身を浸している慧眼のた。にわかには実感しにくかった。印をそろえて、いじめはをまったく信じていなかった。口をそろえて、いじめはをまったく信じていなかった。口をそろえて、いじめはをまったく信じていなかった。口をそろえて、いじめは当時筆者らは中学の養護教諭らと学校現場における思当時筆者らは中学の養護教諭らと学校現場における思

ぬ増加を見、最早捕捉しきれないほどである。日新聞、九五年。豊田、九五年)。出版も比べものになら年一一月、愛知県で中二が自殺(中日新聞、九四年。毎年一月、山形県で中一が死亡(朝日新聞、九四年)、九四

「よい」家族という印象が妙に不幸に思えてならない。 これらのドキュメントを読んでいると、著者の意図な のかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見えることのかどうか、報道(姿勢)とは異なった姿が見ばない。

いじめ熱への不快感

2

苦々しい気持ちに浸される。(いじめが大きく取り沙汰(報道)されると、重苦しく

その一つについては、やや皮肉な言い方にならざるを苦々しい気持ちに浸される。

るからこの程度で納まっているのだろうと気を取り直失いそうになる。いやいや、それほどの善意と正義があこれほどあるのにこのようだとは! と救いを危うく見埋もれているのが不思議になる。埋もれているにせよ、クリする。世にある善意と正義に感動する。それが日常えない。世にこれほどの善人と正義漢がいたのかとビッ

い」という要求である。多く、「われわれは……しましょい」という要求である。多く、「われわれは……して下さは何をしていたのか。多くは、本当に何をしていたのかは何をしていたのか。多くは、本当に何をしていたのかは何をしていたのか。多くは、本当に何をしていたのかは何をしていたのか。多くは、本当に何をしていたのかまの言語使用からすぐわかる。責めうる事実をさらに引常の言語使用からすぐわかる。責めうる事実をさらに引常の言語使用からすぐわかる。責めうる事実をさらに引常の言語使用からすぐわかる。責めうる事実をさらに引常の言語使用からすぐわかる。責めらる事実をさらに引いますが……」と聞いたかと思うと、「……して下さる。かろうじて、「先生方もご苦労なさっていることとは、日知いますが……」と聞いたかと思うと、「……して下さる。かろうじて、「先生方もご苦労なさっていることは、日知いますが、ハッキリとした不快感は消しようもない。自分だが、ハッキリとした不快感は消しようもない。自分だが、ハッキリとした不快感は消しようもない。自分に対している。

べき責を免ずるのとはまったく別のことである。れてくるとは思えない。善意や正義は当事者が勇気を汲れてくるとは思えない。善意や正義は当事者が勇気を汲れてくるとは思えない。善意や正義は当事者が勇気を汲う」とはならない。それぞれがその専門性に基づいた責う」とはならない。それぞれがその専門性に基づいた責

れほど「社会が」という論があったのに、いじめに関しれほど「社会が」という論があったのに、いじめに関しな、原因として、学校、家庭、本人、さらには社会がいは、原因として、学校、家庭、本人、さらには社会がいけ、原因として、学校や教師に一挙に注がれるのだろうか。が、やはりいが、原因とされたもの(家庭・本人)への負の評価のにありうべきいじめへの善意の抑止策なのかもしれないが、原因とされたもの(家庭・本人)への負の評価のにありうべきいじめへの善意の抑止策なのかもしれないありうべきいじめへの善意の抑止策なのかもしれないが、原因とされたもの(家庭・本人)への負の評価のにおいは覆いがたい。不思議なのは、不登校についてはあればで、原因とされたもの(家庭・本人)への負の評価のにおいは覆いがたい。不思議なのは、不登校についてはあれば、原因として、学校、家庭、本人、さらには社会がいは、原因として、学校、家庭、本人、さらには社会がいは、原因として、学校、家庭、本人、さらには社会がいは、原因として、学校、家庭、本人、さらには社会がいいは、原因として、学校、家庭、本人、さらには社会がいる。不登校には、原因として、学校、家庭、本人、さらには社会がいる。

と、いかなる報復があるやもしれぬ。善意にはおもねる 「人の善意を踏みにじる人。いじめられるのもわかる」 どとは決して言わず、というのも、もしそんなことを 私は同情されることに甘んずるしかない人間なのか」な それは同情するゆとりのある人になどわかるはずない。 同情などではなく、この苦痛から逃れ癒されることで、 ち「あなたに私の苦痛などわかりっこない。必要なのは る。その(共同化された)同情の虚偽を暴かず、すなわ なる同情、他人の不幸は蜜の味の感を時に禁じえない。 しかない。いじめと同じ構図ではあるまいか。 言ったら、すなわち同情者たちの共同性に棹差したら、 いじめは、何よりいじめる側の共同性によって定義され いじめに、あえて言えば、またいじめが上塗りされる。 の世の常、これをしも善意と言うのだろう。こうして、 という声が耳障りに聞こえてくることがある。これは人 ある。「かわいそうに(私たちはそうでなくてよかった)」 惻隠もなければ、含羞もないと感じざるをえないことが 私たちは誰もいじめという構図から逃れていないと言 救いでないのは、美風のもう一つの裏面であるが、単

世迷言のもっともたるものかもしれないが。に、善人と正義漢が出現すると言ったら、これは妄言、正義が失われていないことを確認し宣言するかのようの構図の突出した部分(事件)があると、自らの善意とうべきか。それが私たちの生きる構図になっていて、そうべきか。それが私たちの生きる構図になっていて、そ

てはその論調は弱い。時代精神なのかもしれない。

いじめられ体験――個人的回想

3

例の養護教諭らとの学習会の折、いじめを取り上げると論点拡散、展望を見出せる糸口が見えてこないばかりと論点拡散、展望を見出せる糸口が見えてこないばかりと、ようやく気を取り直して再開ということがあった。いじめていると苦笑し、楽しくてやめられないと爆笑いじめていると苦笑し、楽しくてやめられないと爆笑いじめていると苦笑し、楽しくてやめられないと爆笑いじめを思うと、やみがたく、自らの体験が意識の水いじめを思うと、やみがたく、自らの体験が意識の水いじめを思うと、やみがたく、自らの体験が意識の水の直下にあることに気づいて居ざるをえない(いじめの取り沙汰に伴う重苦しく苦々しい気持ちのもう一斑はここにある)。いじめは昔からあったが、今のは昔のと違うこにある)。いじめは昔からあったが、今のは昔のと違うこにある)。いじめは昔からあったが、今のは昔のと違うという論には賛成だが、当事者としてのその苦痛そのもという論には賛成だが、当事者としてのその苦痛そのもという論には賛成だが、当事者としてのその苦痛そのもという論には賛成だが、当事者としてのその苦痛そのもという論には対している。

る感動は不易なのではあるまいか。 とさ、虚しさは虚しさで不易であり、何によって触発され、何に向かって発信されるかは変わっても、それそのもには変わりないのではあるまいか。でなければ、われもには変わりないのではあるまいか。でなければ、われもには変わりないの芸術に感動するなどありえない。味わった若干の修練を要することはあるが、それこそが語りのまで変わっただろうか。むしろ、古来悲しみは悲しみ、のまで変わっただろうか。むしろ、古来悲しみは悲しみ、のまで変わっただろうか。むしろ、古来悲しみは悲しみ、のまで変わっただろうか。

の登園、在園がてこずった末やっとできるようになったを行うという偶然性以上に、自らの体験を直視するありまうこそが、相手と同じ一人の人間として出会う前提でようこそが、相手と同じ一人の人間として出会う前提でようこそが、相手と同じ一人の人間として出会う前提でようこそが、相手と同じ一人の人間として出会う前提でようこそが、相手と同じ一人の人間として出会う前提でなの尊厳を失うことなく自分自身で居ることができる。保育園の時のことである。一年保育だったが、一人での登園、在園がてこずった末やっとできるようになったの登園、在園がてこずった末やっとできるようになったの登園、在園がてこずった末やっとできるようになったの登園、在園がてこずった末やっとできるようになった

遊びなさいと突放されると、自分から先生が見えるとこめらの集団いじめに遭った。そのことで不登園はしなかったが、登園しては先生が教室に来るまで怯えていかったが、登園しては先生が教室に来るまで怯えてい出て行けるようになっても、彼らの姿を遠目に見つけて出て行けるようになっても、彼らの姿を遠目に見つけて出て行けるようになっても、彼らの姿を遠目に見つけてはの死で教室に戻った。みなで園庭や運動場に居なけれならの集団いじめに遭った。そのことで不登園はしなからの集団いじめに遭った。

の子の前で泣く屈辱と、自分の居場所がこの世にないとの子の前で泣く屈辱と、自分の居場所がこの世にないと言って、ピアノに向かった。先生に助が、安心はできなかった。ある時、出てはいけない時間が、安心はできなかった。ある時、出てはいけない時間が、安心はできなかった。ある時、出てはいけない時間が、安心はできなかった。ある時、出てはいけない時間が、安心はできなかった。まった。とっと必死の思いで先生に泣きないった。だらなどまった。それを誰が? 誰に? 訴えたのか、ろにとどまった。それを誰が? 誰に? 訴えたのか、

た。だが、おもねるしか安全はなかった。に助けてもらえるとは思えなかったから必死だった。彼らがいじめるのだと主張したと思うが、聞き入れられたた。それでも怯えは続き、先生を視界から消せなかったた。それでも怯えは続き、先生を視界から消せなかったた。だが、おもねるしか安全はなかった。叱られた先生いう鋭い恐怖は今も生々しく体感できる。叱られた先生いう鋭い恐怖は今も生々しく体感できる。叱られた先生いう鋭い恐怖は今も生々しく体感できる。叱られた先生

普通科に進学した者たちも成績はさえず、学業成績の力で気分はあった。彼らの多くは職業高校に進学し、同じた気分はあった。消防士の父が消火するのかと思うと、自分が優位に立ったような、役が余計なこと(消火と、自分が優位に立ったような、父が余計なこと(消火と、自分が優位に立ったような、父が余計なこと(消火と、自分が優位に立ったような、父が余計なこと(消火と、自分が優位に立ったような、複雑な思いだった。その子をしないことを願うような、複雑な思いだった。その子をしないことを願うような、複雑な思いだった。との子をしないことを願うような、複雑な思いだった。その子をしないことを願うような、複雑な思いだった。というに表が、彼らに対するとは、対している。

によって僕は自由になった。

書きたかった。結論はどちらにしても変わりはないが。曹きたかった。結論はどちらにしても変わりはないが。の遅れや、それを促進する環境の不全は事実だが、そうの遅れや、それを促進する環境の不全は事実だが、そうのがとしても、否、そうであればこそ、自分の遅れや家庭には援助が必要である。体験は、自分自身の痛みを直視には援助が必要である。体験は、自分自身の痛みを直視には援助が必要である。体験は、自分自身の痛みを直視には援助が必要である。体験は、自分自身の痛みを直視には援助が必要である。体験は、自分自身の痛みを直視には援助が必要である。体験は、自分自身の痛みを直視には援助が必要である。体験は、自分自身の痛みを直視に、と言う。本当は自分がいじめっ子だったことの方をだ、と言う。本当は自分がいじめっ子だったことの方をだ、と言う。本当は自分がいじめっ子だったことの方をだとしても変わりはないが。

三五年前の洞察――青年期ドルドラム

つけていないように思えるからである。きしておきたい(注二)。その洞察を私たちはいまだ身に最後に、ウィニコットの三五年前の青年論をなぞり書

青年が作り出す問題に人々が苛立つのは、ジャーナリズ うということは、学者よりも親の方がよく知っている。 現してくるということ以外ではありえない。それは加速 過程に今まさにあるという事実が見失われる虞なしとし たずらに問題視するだけでは、個々の青年が大人になる ムや然るべき人物の発言によることが少なくないが、い も遅延もできないし、あっという間に大人になってしま に進行する成熟過程とによって、遂には大人の人格が出 青年にとって唯一現実的な癒しとは、時の経過と徐 々

分の(支配の)外側にある対象との関係を形成すること 青年は本質的に孤立した存在である。 少なくとも、 自

> 集めとして、青年なりにいろいろな方法で、 ができるようになるまでは、そうである。孤立者の寄せ 一致、共通性を活かした集団形成をする。 何かしらの

団を形成する。実在感を求めてのこの戦いの中で潰され 等質性をもとに、地域や年齢といった接着剤をもとに集 は、ゼロから出発するということである。そんな中で、 と同一視せず、大人の体験に耳を貸さないということ られなければならない。青年の特徴である妥協せず、親 発見できずに虚しさを感じる。これは手出しせずに見守 る風流の狭間に生じる無風地帯のこと)。つまり、自分を 験する(ドルドラムとは元来赤道辺りの互いに相逆行す 孤立した存在として、青年はある種のドルドラムを体

◉戦後のマンハイム研究の金字塔

●社会学、社会科学にとって知とは何か

●石塚省二社会哲学の展開と応用

●ポスト(哲学)的時代の文化

●ポストモダン状況を読み解く● 石塚省二監訳 45・260頁・3000円 る「ポストモダン状況」を読み解く刺激剤。存社会主義の崩壞を画期として世界的に進展すマンハイムのさらなる研究・受容が促され、現 ケットラー、メージャ、シュテール ポストモダンの社会思想家

> A5・330頁・3914円 コ・シュテール/石塚省二監訳 実践へ知 情報する社会のゆくえ

学的分析。
学的分析。
学的分析。
学的分析。
学的分析。
学の知識・理論と実践の関係を解読する社会科学の知識・理論と実践の関係を解読する社会科学の対域へ翻訳できるような学問的知識はど実践的知識へ翻訳できるような学問的知識はど

の諸側面を鋭く剔挟する。 広く(現在)世界市民社会の「ポストモダン状況、 批判(知)を創造すべく、(現在)日本市民社会、 A5変型・270頁・2266円石塚省二著 社会哲学的考察 市民社会 六つの締織から日常的ポストモダン状況にある社会を終る。

脱構築 (哲学)的文化の時代の到来を告知する/放され、知の新しい形態を手にすべき、ポスト放され、知の新しい形態を手にすべき、ポストギリシア以来西洋を呪縛した伝統的思考から解 室井尚他訳 45.500頁4738月 リチャード・ローティ プラグマティズムの帰結

御茶の水書房 〒113 東京都文京区本郷5-30-20 全03(5684)0751 FAX03(5684)0753

--- 7 ---

それが時に問題となる(思春期のいじめはその一つ)。 る。そんな中で、自らに実在感を与えるようなことをし、 居るのかもわからず、ただただ大人になる時を待ってい ないような、ある種の同一視を探し求めているのであ 青年は自分がどうなろうとしているのか、今どこに

のメンバーを利用するのである。 ラムを乗り越える戦いの中で、実在感を持つために、そ 認しない時でも、事態は同じである。メンバーはドルド え集団内の誰一人としてそのメンバーがなしたことを承 のために働くそのメンバーを支持するようになり、たと と、このことが孤立者である青年を糾合させ、メンバー よって社会の反感を買うことを好んでやるようになる 的なメンバー(いじめっ子)がいて、反社会的行動に 団全体に代わって行動化する。すなわち、例えば反社会 に実在感を与える。メンバーは集団に忠実となり、集団

かくて、青年期の戦いで起こるあらゆることは、集団

蔽する形で集団を形成する。そして、そのメンバーが集 孤立者の寄せ集めである青年集団は、そのメンバーを隠 に現れやすく(例えば、いじめっ子、いじめられっ子)、 その際、いろいろな傾向は集団の中で、より脆弱な者 とっては)偽りの解決を強いることなしとしない。 青年の困った問題としてのみ解決したくなり、青年がド 故に、私たちはそうした自分自身に向き合う代わりに、 私たち自身の中の生きられなかった青年期を触発するが と)のサインだからである。それにしても、この挑戦は ではなくて、むしろその挑戦に応えることである。問題 とである。本質的に健康的な行動化を治そうとすること そして大人社会の当然の機能としてこの挑戦に応えるこ る。ポイントは、私たち大人が挑戦を受けていること、 自らの行動に現実味があるかどうか確信が持てなくな こらなければ (=大人が何も応じなければ)、メンバーは ルドラムを体験するのを妨害し、数限りない(青年に は生きる希望 (実在感への欲求)(が失われていないこ の力動の中に吸収されるが、それに対してもし何事も起

妨げないような自らのありようを模索しているうちに、 支持するのも誤りなら、支持しないのも誤りである。ま 思って言ったりしたりすることはすべて間違っている。 た、青年を理解しているなどとゆめゆめ思ってはならな あえて言う。私たちが問題を解決してやろうなどと 私たちが挑戦に応じ、自らを見つめ、青年の体験を

きるようになっている!を喪失する心配なしに、大人に同一視し始めることがで会、親、さらにはより広範な人との間で、自らの独自性青年はいつの間にか確実にドルドラムから抜け出し、社

涪

(1) 横浜市汐見台中学校PTA、磯子区PTA連絡協議会池(1) 横浜市汐見台中学校PTA、磯子区PTA連絡協議会池(1) 横浜市汐見台中学校PTA、磯子区PTA連絡協議会池(1)

文一九六一年)発達と病理』誠信書房、一九八四年、一〇七-一二〇頁(原論発達と病理』誠信書房、一九八四年、一〇七-一二〇頁(原論ムを通じての戦い」、牛島定信(監訳)『子どもと家庭-その(2) D・W・ウィニコット(松木邦裕訳)「青年期-ドルドラ

いじめに関する文献

遠藤豊吉『弱いものいじめ-教室からの報告』日本放送出版協善指導資料三)、大蔵省印刷局(三月)

会(六月)

析九-子どもの深層』有斐閣(一二月)馬場謙一・福島章・小川捷之・山中康裕(編)『日本人の深層分村瀬学『子ども体験』大和書房(一〇月)

一九八六年

畠瀬直子『いじめられっ子救出作戦』(有斐閣選書七五五)有斐森田洋司・清永賢二『いじめ-教室の病い』金子書房(一月)

供の世界』慶応通信(三月) 箭内仁・徳重篤史・須永和宏・富樫道明『いじめ-見えない子

菅野盾樹『いじめ=〈学級〉の人間学』(シリーズ・子どものこ朝日新聞社会部『「葬式ごっこ」』東京出版(五月)

『現代のエスプリ』二二八号「いじめ-家庭と学校のはざまで」(ころとからだ)新曜社(六月)

至文堂(七月)

一九八七年

六)東京大学出版会(七月) 竹内常一『子どもの自分くずしと自分つくり』(UP選書二五

一九八八年

現代新書八九三)講談社(三月)山口昌男『学校という舞台-いじめ・挫折からの脱出』(講談社

一九八九年

剛出版(三月)剛出版(三月)『児童青年精神科-現代社会の病理と臨床』金若林慎一郎(編)『児童青年精神科-現代社会の病理と臨床』金

中川明『学校に市民社会の風を-子どもの人権と親の「教育の 自由」を考える』筑摩書房(一〇月)

佐瀬稔『いじめられて、さようなら』草思社(二月)

佐藤直樹『大人の〈責任〉、子どもの〈責任〉-刑事責任の現象 学』青弓社(七月)

諏訪哲二『学校の終わり』宝島社(九月)

滝川一廣『家庭のなかの子ども「学校のなかの子ども』岩波書 店(三月)

森田洋司・清永賢二『新訂版』いじめ-教室の病い』金子書房

小寺やす子『いじめ撃退マニュアルーだれも書かなかった〈学

朝日新聞山形支局『マット死事件-見えない〝いじめ〟の構図』 豊田充『「葬式ごっこ」−八年目の証言』風雅書房(一○月) 校交渉法〉』情報センター出版局(八月)

太郎次郎社(一〇月)

中日新聞本社・社会部(編)『清輝君が残してくれたもの-愛 法務省人権擁護局内人権実務研究会(編)『「いじめ」Q&A-子どもの人権を守ろう』ぎょうせい(一二月)

知・西尾中二いじめ自殺事件を考える』海越出版社(一二月)

毎日新聞社会部(編)『総力取材「いじめ」事件』毎日新聞社(二 『imago』六巻二号「特集・いじめの心理」青土社(二月)

小浜逸郎・諏訪哲二(編著)『間違いだらけのいじめ論議』宝島 社 (四月)

『現代のエスプリ』別冊「いじめ自殺」至文堂(五月) 安達倭雅子他『いじめ-いま、親にできること』木馬社 (五月)

別役実・芹沢俊介・山崎哲『〈いじめ〉考』春秋社(五月) 『児童心理』四九巻五号「いじめ対応と予防読本」金子書房(六

日本弁護士連合会(編著)『いじめ問題ハンドブックー学校に子 どもの人権を』こうち書房(六月)

土居健郎・渡部昇一 『いじめと妬み-戦後民主主義の落し子』 PHP研究所(七月)

D・オルウェーズ(松井賁男・角山剛・都築幸恵訳)『いじめ (一〇月) (原著一九九三年) こうすれば防げる-ノルウェーにおける成功例』川島書店

佐治守夫(監修)岡村達也・加藤美智子・八巻甲一(編著)『思 論社 (一〇月) 春期の心理臨床-学校現場に学ぶ「居場所」つくり』日本評

R・ストーンズ(小島希里訳)『自分を守る本-いじめ、もうが 豊田充『清輝君が見た闇-いじめの深層は』大海社(一一月) まんしない』晶文社(一二月)(原著一九九三年)

野田愛子(監修)家庭問題情報センター(編著)『子どもをいじ

論社(一二月) めから救うために-家族臨床と非行臨床からの提言』日本評

を中心に』(シリーズ・子どもと教育)岩波書店(一二月)浜田寿美男・野田正人『事件のなかの子どもたち-「いじめ」

いじめ研究である。しないが)。出版状況や題名、内容などの分析は興味深い一つのしないが)。出版状況や題名、内容などの分析は興味深い一つの得られる(いじめという言葉が表題にない本はもれる虞なしとおきたいものに限った。完備した文献表はコンピュータ検索で文献表は当然網羅的でない。直接目を通し、その名を記して

趣旨が異なるから当然である。研究はない。手記自体にそうした解説(研究)がないのは出版研究はない。手記自体にそうした解説(研究)がないのは細なり体が研究の重要かつ膨大な資料だが、この肉声からの詳細なから隅まで目を通したものがないという以外他意はない。手記文献表にある欠落は、まずいじめ当事者たちの手記(集)。隅

世界にもハウツーというべき基礎的な修練があって、それは趣勢に対して意義申立てすることこそが、ナマモノの場には相といいのではないか。素人考えだが、芸(術)というナマモノのある問題万般に通用する)ハウツー式に書かれていると、また釈は思われるが、すっきりハウツー式に書かれていると、また釈は思われるが、すっきりハウツー式に書かれていると、また釈は思われるが、すっきりハウツー式に書かれていると、また釈は思われるが、すっきりハウツーという発想のありようへの然としない。嫌味の一つは、(教師も子どもも含めて) 人がもののように感じがしてくる。もう一つは、この(万人ないしは人が居ないが、対策の正論を見ると、善意や熱意は感じても、場際に対していると、表情ないというではない。現場では、教員向けに書かれた(ハウツー)本。手記次の明白な欠落は、教員向けに書かれた(ハウツー)本。手記

ででは、ないでは、できないものだが、それは素材を活かしまった。なのかと、ふと疑心暗鬼の、重ねての妄言、世迷言深謝。としての修練となることを願う。書く方も読む方もこの辺どうを手引きに従って習得することとは異なって、自己の教師(人)を実現する自己の修練であって、単に素材を扱う修練ではな材を実現する自己の修練であって、単に素材を扱う修練ではなまったく揺るがせにできないものだが、それは素材を活かし素まったく揺るがせにできないものだが、それは素材を活かし素

一方、教師による (克明な) 実践記録も省略された。頑張って上実践に目を閉ざしたくなる所以である。

本と格闘するにしくはない。廉価で摘み食いできてよいが、自分の観点獲得には一冊の単行容は各執筆者の各自の論を免れないものが多い。雑誌故比較的り、ほとんど一冊の単行本といっていいものも多々あるが、内かなりの量の雑誌特集も除いた。構成がよく考えられておかなりの量の雑誌特集も除いた。構成がよく考えられてお

られなくなってくる。相手も自分も何か生き生きしたものに感じられてきたりする。相手も自分も何か生き生きしたものに感じ知識の所有者に転落し、相手はその適用対象といった風に感じといって実践への意欲がわいてくる訳ではない。自分が単なるだの、対策だののまとめが要領よい。知識が増えるが、だからられなくなってくる。

局(九五年)の表題に明らかなように、野田(九五年)などQ& 司法人の関心が歓迎されますように。最後に、法務省人権擁護 る。法務省人権擁護局(九四年)、日本弁護士連合会(九五年)。 としているが、わが国で人権というと司法関係ということにな の領域の論者も人権感覚から出発し、それを揺るぎえない骨格 と同時に、わが国における積み重ねのなさを思う。海外ではど いが、海外での地道な研究と実践にふれるにつけ、励まされる じめが論じられたことがあり、わが国の特質もあるには違いな 築訳、九五年)などの翻訳物。わが国に特異的な現象としてい なる革命の進展を望む。次に、オルウェーズ(松井・角山・都 はいつも既にその変革が完了した時である。 良い方向への静か 国にあるかどうか。だが、本当の変革は良い方向へも悪い方向 目覚めさせる本である。これを通用させる(教育)土壌がわが じめ対策の本ではなく、人権教育の本、子どもに自分の人権に に代表される子ども向けの(対策)本。この種の本は単なるい へもいつも大抵静かに進む。大袈裟な変革の祭りが祝われるの 新しい出版動向として、まず、ストーンズ(小島訳、九五年)

A形式の本が散見される。

残るだろう。 根を捉えている。森田・清永 (八六、九四年) のみが古典として

岡村達也(おかむら・たつや)

教授(臨床心理学)──九五四年生、七八年東京大学文学部、八〇年教育学研究科博士課程中退、現在専修大学文学部心理学科助年大学院教育学研究科博士課程中退、元八年東京大学文学部、八〇年教育学部卒業、八五年

ンセリングを学ぶ』東京大学出版会(共著、近刊)など房(以上分担執筆)、『思春期の心理臨床』日本評論社(共編著)、『カウ原(以上分担執筆)、『思春期の心理臨床』日本評論社(共編著)、『カウァ書『心の健康と適応』 福村出版、『臨床心理学への招待』ミネルヴァ書

阪神地区研修旅行 特集

変鬼敬しい警告犬兄を知るとともこ、各警告を友もる荒重ノス販売会社の流通センターを訪問し、見学・研修を行いました。二月一五日から一七日の三日間、阪神地区の新規店および各

お忙しいところ、このたびご執筆いただきましたことを厚くテムを見ることができ、大きな収穫を得ることができました。変貌激しい書店状況を知るとともに、各書店を支える流通シス関ラ会をの済遅センターを記問し、男学・砂値を行いました

御礼もうしあげます。

ンターが平成八年四月稼働で進行しております。 地次計画の実施を進めております、東京ロジスティックセリで、TLAIS近畿システム(新在庫管理システム)は、物流改革につきましては、約六○○億の投資を行い、す。物流改革につきましては、約六○○億の投資を行い、す。物流改革にと選案型営業の積極的な展開を行っておりまけ。物流改革に提案型営業の積極的な展開を行っておりまけ。物流改革にと選出という。 地次計画の実施を進めております注文物流改革の一貫と順次計画の実施を進めております。対立を開を行っております。 本年が三年 50」を策定し、営業改革はグッドパートナー(GP) と平成七年五月に稼働させました。雑誌部門では、業界 インフラと注目されております。

トーハンロジスティック構想とTLAIS近畿

スティック構想による書籍注文物流改革としてシステムこれは「読者の近くに在庫を」という地域密着型のロジの第一歩として、「TLAIS近畿」を稼働させました。的で〝出版QRS(クイックレスポンスシステム)〟計画書店様の支援を積極的に推進し、業界の発展を図る目

段階として、書店への自動補充システムを開発中です。(ネットワーク)により近畿トライスセンターに集約され、在庫の共有化を実現いたしました。また一部書店では発注端末を設置して、書店において在庫の有無確認とは発注端末を設置して、書店において在庫の有無確認とは発注端末を設置して、書店において在庫の有無確認とれ、在庫の共有化を実現いたしました。また一部書店では発注端末を設置して、書店におり、大阪支店・京都支を構築したものです。これにより、大阪支店・京都支を構築したものです。これにより、大阪支店・京都支

魯店(読者)のニーズ

スシステム本稼働により、在庫管理システムと注文処理大変な時間・手間を必要としておりました。今回トライ報が曖昧で結果として、ニーズを一○○%満たすことはといえます。それに対し、従来は本を注文しようにも情入荷するか、無ければいつ入荷するのか」に集約される手に入れたい」、「在庫は有るのか無いのか、有ればいつ手に入れたい」、「在庫は有るのか無いのか、有ればいつ書店(読者)のニーズは、「欲しい時、欲しい本を速く書店(読者)のニーズは、「欲しい時、欲しい本を速く

システムが直結し、相当数の対応が可能となりました。

専門図書の流诵

発注にも対応しております。注文品送品は処理形態によ流とで対応しております。新刊物流は、出版社で刊行さ流とで対応しております。新刊物流は、出版社で刊行さ流とで対応しております。新刊物流は、出版社で刊行さ流とで対応しております。新刊物流は、出版社で刊行さ流とで対応しております。新刊物流は、出版社で刊行さ流とで対応しております。注文品送品は処理形態によう物には、出版社で刊行さ流とで対応しております。注文品送品は処理形態にようない。

①の書店への提案として、ジャンル別基本図書(必備図す。新刊の補充注文もこれにあたります。トーハンでは合む)、③客注、の三タイプとなります。②は書店独自合む)、③客注、の三タイプとなります。②は書店独自る定番商品としての位置付けとなります。②は書店独自の書店への提案としての位置付けとなります。②は書店におけて、①常備品・基本図書・オーダーベスト等スリップ管路注にも対応しております。注文品送品は処理形態によ

行っております。専門書販売の特性としては、読者の書)とオーダーベストを用意、店頭の活性化の支援を

を行い拠点物流を支え、納期の短縮化を図っておりま専門書センターにて、四万点六二万冊全点単品在庫管理ます。これらに対応する為にトーハンでは中央物流総合応で補い③客注品対応で読者の要求を満たす必要がありニーズと書店での陳列の質と量に限りがある為②での対ニーズと書店での陳列の質と量に限りがある為②での対

TLAIS近畿システムの概要

 とデータの精度を高め、作業の効率化と高品質の在庫管行います。在庫メンテナンス・棚卸し業務により、在庫ンから託送ラインを経て輸送会社渡しとなります。在庫メンテナンス・棚卸し業務からなり注文処理実績により運用の精度アップを図っております。出版社への発注は実績により自動補充データ作成、オンライン拡大)。入下AX発注で対応しています(順次オンライン拡大)。入下AX発注で対応しています(順次オンライン拡大)。入下AX発注で対応しています(順次オンライン拡大)。入下AX発注で対応しています(順次オンライン拡大)。入下AX発注で対応しています(順次オンライン拡大)。入下AX発注で対応しています(順次オンライン拡大)。入下AX発注で対応しています(順次オンライン・出庫・在管理業務により自動補充データ作成、オンライン・独しまり、出庫・在管理業務によりは表別によります。出庫に出載の冊とデータの精度を高め、作業の効率化と高品質の在庫管行います。在庫メンテナンスと棚卸し業務により、在庫との発達を表別によります。出庫に記載の冊出車が設定といる。

TLAIS近畿システムの特徴

理を行い出版QRSをサポートいたします。

・築し大量処理 (三○○万件) の高速化と効率化を図り、①大規模在庫データベースを「OLACLE」により構

と、在庫管理対応の機能を分散。在庫管理の全国一元イアントサーバーシステムを採用、ネットワーク対応②オープンシステム(UNIX)で構築し、本格的クラリアルタイム処理を実現しました。

管理化をWANにより実現しました。

注され、得意先書店への在庫保証を可能としました。す。また、定番在庫管理商品は、出版社へ自動補充発イン端末の設置を推進。これにより自動補充を行いま③出版QRSの実現のために書店商品の定番化とオンラ

今後の課題

の一元管理・SA化の普及など、課題も多く残しておりタベースの構築や、書店・出版社・取次会社・各コードタ交換が技術的には可能となり、流通の合理化改善の環タ交換が技術的には可能となり、流通の合理化改善の環タ交換が技術的には可能となり、流通の合理化改善の環ルでは、大います。しかし業界としては、統一データで、カートし現在ではほとんどの書籍がコード化されるにスタートし現在ではほとんどの書籍がコード化されるにスタートし現在ではほとんどの書籍がコード化されるにスタートし現在ではほとんどの書籍がコード化されるにスタートし現在ではほとが、課題も多く残しておりの一元管理・SA化の普及など、課題も多く残しておりの一元管理・SA化の普及など、課題も多く残しておりの一元管理・SA化の普及など、課題も多く残しておりの一元管理・SA化の普及など、課題も多く残しておりの一元管理・SA化の普及など、課題も多く残しており、課題も多く残しておりの一元管理・SA化の普及など、課題も多く残しておりの一元管理・SA化の普及と

らサービス向上を目指します。また、マルチメディアの「本の探検隊」を開設し、読者と書店の接点を増やしながサービスが必要と考えます。トーハンではホームページよる書店(読者)への受発注業務サービスや情報提供ます。今後の展望といたしましては、インターネットにます。今後の展望といたしましては、インターネットに

報提供に取り組んでまいります。 (森田育雄)ニーズに応えるため、書店と出版社の間で流通革新と情拡充を積極的に行います。今後ともトーハンは常に読者対応といたしましては、CD-ROMの流通と販売店の

日販 西日本流通センター(NDC)

積三千坪、建築延べ面積三千坪)。 点として、八四年一一月にオープン致しました(敷地面、NDCは日販の関西・岡山支店エリアの注文流通の拠

以降、豊富な在庫と各種新注文処理システムの導入

サービスの向上に努めて参りました。で、エリア内取引先への注文品のスピードアップや、諸

また、当土こおいては小店の人と友爱推進でよるSAピードアップが求められております。し、より高度な注文情報・物流システムと商品供給のスしかし近年、注文流通を取り巻く環境は大きく変化

版社オンライン受発注の拡大等が行われており、NDC機器の普及、王子ハイテクセンターの二四時間稼働、出また、当社においては書店SA化支援推進によるSA

いて概要を述べさせて頂きます。 以下リニューアル後のNDC注文品処理システムにつニューアル・オープン致しました。 はこれらの動向に対応するため、去年一二月一二日リ

1 書店SA機器と連動で即時受注処理

地によりデータを振り分けています。 は、非在庫で出版社調達の場合、出版社の所在(王子DC)では、在庫有無のコンピュータ管理をしてい振り分けられます。その為、NDC、王子流通センター振り分けられます。その為、NDC、出版社へ自動的により調達場所により、王子、NDC、出版社へ自動的に

2 注文データ化によるスピードアップ

アップを図っています。
一切なくし、スピード冊が作成され、手作業の仕分けは一切なくし、スピードがデータ化されています。在庫の場所別、棚の順番に短中心に受注入力を行っています。現在九○%以上の注文す。短冊については、ISBNコードにより、専門書をす。短冊には前述のEOSの他、短冊で注文が届きま

9 単品起票によるサービスアップ

なり、また事故の大幅滅となりました。は単品ごとの納品明細が表示され書店様の検品が容易にを読みとって送品伝票を作成します。これにより伝票に品は、NDCにて書店別に仕分けられ、ISBNコードのDCで調達された商品と、王子DCで調達された商

され在庫商品選定の資料となります。そしてこの単品毎の起票データは売れ筋データに加工

4 在庫管理によるサービスアップ

を活用し、在庫商品の選定、安全在庫冊数・発注点の決一起票データの他、NDCでは受注データ、搬入データ

の防止に努めています。定を行い、NDC商品調達率の向上、在庫商品の品切れ

5 在庫補充注文の適正化

します。 在庫商品に対し、次の二つの方法で発注データを作成

① SENRI眼システムによる自動発注冊数を算出と、自動計測した在庫冊数から自動的に発注用数、発注ロット品毎の在庫冊数を自動計測するシステムです。予めコン品毎の在庫冊数を自動計測するシステムです。予めコンコを加入の工庫ので、超音波センサーを利用した、リアルタイムに商テムで、超音波を自動計測するシステムによる自動発注

② ハンディターミナルによる発注

します。

発注数を決定、ハンディターミナルに入力します。品毎にラベル化し、該当商品の在庫冊数を確認しながらします。コンピュータに登録してある基本在庫量等を商これはSENRI眼に不向きな小量在庫商品を対象と

6 出版社への発注のスピードアップ

発注のオンライン化を進めてまいります。よる送信が主ですが、今後出版社様に協力をお願いし受はオンライン通信にて送信します。現時点ではFAXにていますので、人手を介さず、出版社様へ、FAXまた上記の二つの方法で決定された発注は、データ化され

います。

7.専門書を中心とした書店別ピッキング

別仕分け、起票を省きスピードアップを図っています。ています。送品伝票も受注データより自動作成し、書店書店別の在庫棚順に作成し、書店別にピックングを行っ専門書は大型特定書店に集中する傾向のため、短冊を

NDC在庫拡大による充足率の向上

今般のリニューアルで、専門書、関西版元を中心に在

大阪屋 関西ブックシティ ―

ティ」は、大阪の近郊東大阪市に一九九五年一一月に建善当社の新しい注文品流通センター「関西ブックシ

(一千坪)と合わせ二二万点と関西最大の規模を有して拡大しました。これにより、在庫点数は従来の店売倉庫庫の拡大と、三階(一千坪)を店売在庫スペースとして

9 今後の取組み

今後とも各社様のご協力をお願い致します。(小島義久)について更にレベルアップを図るように努めますので、が通の基本は他ジャンルと同じです。このインフラの部です。出版業界で専門書ジャンルは特殊にみられますが書店様との連携強化による情報と物の円滑な流通の実現書店様との連携強化による情報と物の円滑な流通の実現書にが、その中核となり運用を左右するのは、出版社、以上システムの特徴点を中心に述べさせていただきま以上システムの特徴点を中心に述べさせていただきま

がら翌一九九六年一月一六日から本格的に稼働を始めま物を新築し、一二月からシステムの並行テストを重ねな

した。

流システムに全面的な改革を加え移管したものです。票・出荷など一連の注文品処理業務の一切を、情報・物た店売在庫管理・注文品受注・出庫・書店別仕分け・起業務内容は、従来大阪市西区の本社で処理を行ってい

をいにも出版業界は、 をいにも出版業界は、 をいにも出版業界は、 をいにも出版業界は、 をいにも出版業界は、 を対しては、専門書まで含めた広範囲な点数を常時在 を対しては、専門書まで含めた広範囲な点数を常時在 を対しては、専門書まで含めた広範囲な点数を常時在 を対しては、専門書まで含めた広範囲な点数を常時在 を対の流通スペースと処理システムではほぼ限界状態に としては、専門書まで含めた広範囲な点数を常時在 を対の流通スペースと処理システムではほぼ限界状態に を対したペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 としたペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 としたペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 としたペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 としたペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 としたペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 といてきたものの、昨今の決断が迫られていました。 を対したペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 といてきたものの、 を対したペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 といても出版業界は、 を対した。この間注文品流通システムに を対したペーパーバックスの急激な点数増加に圧迫され、本 といても出版業界は、 を対した。この間注文品流通システムに を対した。このは、 を対した。このは、 を対した。 をが、 をがした。 をがし、 をがした。 をがし、 をがした。

◇POSレジを始めEOS(電子データによるオンライ

◇また出版社・取次間の出版VANを活用したオンライ

◇業界に先駆けて出版社とのオンライン受発注を稼働さ九九○年より開始しその威力が発揮され、テム(後にダウンサイジングとして一般的となる)を一テム(後にダウンサイジングとして一般的となる)を一

せ

しいとされたクライアント/サーバー型の分散処理シス

また当社の情報システムも、当時の日本産業界でも珍

で多岐にわたっています。現実問題として大阪と在京出

当社の営業エリアは近畿圏を中心とした西日本に集中

得意先の規模は数百坪の大型店から駅売店に至るま

に進めてきました。◇一部専門取次への書誌データが大きを図るなどインフラの整備も積極的◇一部専門取次への書誌データベース提供により一層の◇書店EOSによる注文品受注も六○%に達する一方、

す。交通アクセスも最寄り駅(JR学研都市線「徳庵」)入して完成した流通センターが「関西ブックシティ」でコンピュータとLAN接続された最新鋭のFA機器を導地一六三二坪四階建て延ベ三二○○坪の建物に、ホスト これらの業界環境と情報インフラをベースとして、敷

す。 から徒歩八分、大阪の基幹道路・近畿自動車道の最寄り インターから数分という満足の行く土地となっていま

「関西ブックシティ」 は

⑴数百坪クラスの大型店にも発注ヒット率九○%が維持 できるよう、専門書を中心として在庫点数を充実させ →在庫点数二〇万点

⑵在庫補充の発注漏れと適正仕入部数算出のため、 単品在庫管理を行う。 全点

3書店からオンラインで受注し、 お届けする。→「三DAYパワー」の実現 れたペーパーバックス商品は、 受注から足掛け三日で かつバーコード表示さ

> ⑷省力化と起票事故防止のため、バ ーコード入力を基本

⑸企業風土革新のため、建物の外観設備は取次の流通 とした自動仕分機を導入する。

入・搬出と一般書の書店別整理・出荷を行うフロア。 大きくは以上の点を基本コンセプトに稼働しました。 ンターらしくない設計とする。 「関西ブックシティ」 の各フロアの機能は、 階は搬

取り、書店別に仕分け後仕分けられた対象商品のみ即時 含む)以上の仕分けと伝票発行が可能ですが、商品への バーコード表示商品であれば、毎時七千件(複数注文を に伝票発行する大型自動仕分機が設置されています。

店コードとISBN・定価をバーコードリーダーで読み

で読む

森祐希子◎ 定価2000円

のシェイクスピア研究者が徹底比較! 映画と原作のスリリングな関係を、気鋭 「ロミオとジュリエット」「カラ騒ぎ」:

ポール・ヴァレリー

が、近代思想・哲学を縦横無尽に斬る!訳。壮大にして華麗。あのイーグルトン テリー・イーグルトンの主著、待望の邦

科学者たちの J・R・ヴァレリー編/菅野昭正、他訳 冒険〉を13人の科学者が解明する。 ン・ベルナール…。ヴァレリーの〈知的 イリヤ・プリゴジン、ルネ・トム、ジャ 定価4800円

美のイデオロギ テリー・イーグルトン

鈴木聡、他訳

定価6000円

東京都世田谷区桜丘5-38-1

二階はPB商品を除く全分野の商品の店売在庫フロバーコード表示率は五○%程度と低いのが現状です。

店別に仕分けられ、一階と同様に仕分けられた商品のみ機に記憶させ、商品のバーコードを読み取ると同時に書が可能な自動仕分け機を同フロアに設置し、出荷業務も同時に行います。大半の在庫出版社は、出版VANを活用しオンラインによる自動発注方式の在庫管理となって用しオンラインによる自動発注方式の在庫管理となって用しオンラインによる自動発注方式の在庫管理となって用しオンラインによる自動発注が、出版VANを活時に記憶させ、商品の「三階は文庫・コミックスなどペーパーバックス商品の「三階は文庫・コミックスなどペーパーバックス商品の「三階は文庫・コミックスなどペーパーバックス商品の

即時に伝票発行し順次出荷します。前日発注した商品は

な機能をフルに活かすまでに至っていません。三○%と依然多く、残念ながら流通システムのパワフルすることですが、バーコード未表示商品はコミックスでワー」の実現が図れました。但し一階出荷業務にも共通当日中に出荷を完了、翌日には書店配達と「三DAYパ当日中に出荷を完了、翌日には書店配達と「三DAYパ

機能はますます強化されると考えています。

「関西ブックシティ」の流通することで、専門書を始めとした様々な分野の在庫管理をることによりタイムリーな在庫へのメンテナンスを進ることで、専門書を始めとした様々な分野の在庫管理をめ、大型書店から個性豊かな書店まで一層満足頂ける在め、大型書店から個性豊かな書店まで一層満足頂ける在め、大型書店から個性豊かな書店まで一層満足頂ける在め、大型書店から個性豊かな書店まで一層満足頂ける在しいペーパーバックス商品の流通を一般商品から分離することで、専門書を始めとしています。

とで流通革新に挑戦し続けます。 (岡本公一)今後とも情報システムと物流システムの高度化を図るこ「本と読者の豊かな出会いを創る」を旗印に、大阪屋は

駅(仮称)とも直結し、より多くの利用者が見込まれる接続し、平成九年春片復連絡線が開業いたしますと桜橋電車梅田駅、地下鉄梅田駅・東梅田駅・西梅田駅などとにオープンした全く新しい地下街で、JR大阪駅、阪神店舗となります。ディアモール大阪は、平成七年一〇月店舗となります。ディアモール大阪は、平成七年一〇月店舗となります。ディアモール大阪)のバラエティストリートに(愛称:ディアモール大阪)のバラエティストリートに(愛称:ディアモール大阪)のバラエティストリートに(愛称:ディアモール大阪)のバラエティストリートに(

ド・実用・文学・文庫」(D)「最新刊」となっていま書・辞書・語学・コンピュータ」(C)「地図・ガイれが(A)「雑誌・コミック」(B)「ビジネス・人文店舗の構成は四つのコーナーに分かれており、それぞ

す。

ようになります。

地図・ガイドに力を入れ、中規模店としての特色を出しない代わりに、コンピュータ書、ビジネス書、人文書、商品面では、学習参考書、理学書、医学書などを置か

ています。

改正、蓄積されたデータの加工などが実現されています。において売れ数が把握できるようになっています。そだを読みとり、閉店時に本社に送信、翌日には店舗の端ドを読みとり、閉店時に本社に送信、翌日には店舗の端また三省堂書店独自のPOSシステムを導入し、店舗また三省堂書店独自のPOSシステムを導入し、店舗

を心がけています。また、最近注目度の高い歴史書にも人文書としては、動きの早い実社会に対応した棚作り速な棚の補充ができるようになっています。品について、オンラインによって自動発注がなされ、迅品について、オンラインによって自動発注がなされ、迅

今後の展望といたしましては、現在の主なお客様であ力を入れています。

題と考えております。ジネスマンと、両者に満足感を与えるような店作りが課る、若い女性のお客様と、片複線開業後に見込まれるビ

開店から半年が経過したとは言え、まだまだ不充分な

ますので、何卒よろしくお願い申しあげます。ながら、皆様に愛される店を心がけていく所存でござい点も多いかと存じますので、ご指導、ご鞭撻をいただき

(持主俊介)

旭屋書店天王寺Mio店

が予想以上に多く来店されています。 地屋書店天王寺Mio店は、平成七年九月一四日、南地屋書店天王寺Mio店れています。 大阪地区最大面積の書店として、JR天王寺駅直結の駅 大阪地区最大面積の書店として、JR天王寺駅直結の駅 大阪の玄関口として一日の乗降客も大変多いところで 大阪の玄関口として一日の乗降客も大変多いところで 大阪の玄関口として一日の乗降客も大変多いところで 大阪の玄関口として一日の乗降客も大変多いところで 大阪の玄関口として一日の乗降客も大変多いところで 大阪の玄関口として一日の乗降客も大変多いところで 大阪の玄関口として一日の乗降客も大変多いところで 大阪の玄関口として一日の乗降客も大変多いところで で、おかげさまでたくさんのお客様に来ていただいてお ります。客層は子供から年配の方まで幅広いですが、ビ のます。名間であるということ 本で、おかげさまでたくさんのお客様に来ていただいてお ります。名間であるということ 本で、おかげさまでたくさんのお客様に来ていただいてお のます。名間であるということ 本で、おかげさまでたくさんのお客様に来ていただいてお のます。名間であるということ 本で、おかげさまでたくさんのお客様に来ていただいてお のます。名間であるということ 本で、おかげさまでたくさんのお客様に来ていただいてお のます。名間であるということ 本で、おかげさまでたくさんのお客様に来ていただいてお のます。名間であるということ ないう側面も持っており、勉強熱心な土地柄で、学生 が予想以上に多く来店されています。

店内は、売場面積が約四百坪で、すべての棚前に平台

ると思います。

う。今までの旭屋のイメージと少し違った店になってい
う。今までの旭屋のイメージと少し違った店になってい
たアベノ店を御存じの方もおられると思いますが、全く
たアベノ店を御存じの方もおられると思いますが、全く
がついており、通路やカウンターも広々として、きれい

おりましたので、移転によってお客様が離れてしまうのが高く、特に人文書においては固定客もたくさんついてしています。アベノ店では、一般書よりも専門書の比率書に関しては一般書ほどではありませんが、堅調に推移大幅に伸びており、学参や語学書関係も順調です。専門で申しますと、雑誌、実用書、文庫、文芸書等一般書はで申しますと、雑誌、実用書、文庫、文芸書等一般書はで申しますと、雑誌、実用書、文庫、文芸書等一般書はで申しますと、雑誌、実用書、文庫、文芸書等一般書はで申しますと、雑誌、

き、二年目の飛躍に備えたいと思います。といかと開店前は少し心配していたのですが、それをまた棚にフィードバックしていきたいと思います。自分としては、棚の充実は当然のこととして、たくさんあるやミニコーナーを絶えず企画して、新鮮なコーナーづくかをニコーナーを絶えず企画して、新鮮なコーナーづくりを心掛けその中から自店に合った独自の売れ筋を見つけ、それをまた棚にフィードバックしていきたいと思います。自分としては、棚の充実は当然のこととして、たくさんあるいとが重要と考え、担当者として施行錯誤の毎日です。具とが重要と考え、担当者として施行錯誤の毎日です。具とが重要と考え、担当者として施行錯誤の毎日です。具にが表表していたのでまが、まだこれから時間をかけて、専門書の棚をつくっていたの展開力で勝負していきたいと思います。

書店業界も出店競争の時代になり、今後も大型出店が

いたします。 (田中徹夫)思っておりますので、今後とも御指導をよろしくお願い販売にも最大の努力をして売上増に貢献していきたいと販売にも最大の努力をして売上増に貢献していきたいとりありがとうございます。店の成長と同時に、人文書の人文会会員の版元の皆様には、いつも大変お世話にな

駸々堂神戸三宮店

七年九月一〇日です。 駸々堂神戸三宮店が、オープンいたしましたのが平成

置するセンタープラザビル三階です。売場面積九四二坪立地環境は神戸の繁華街である三宮のセンター街に位

オ・CD・CD-ROMなどメディアはますますマルチの一フロアをテーマ別ゾーン展開しています。「知」の情報が必需品であることは言うまでもありません。駸々堂はこの現代の糧「知」の情報をきかで楽しく希望に満ちたものとすることができればを豊かで楽しく希望に満ちたものとすることができればを豊かで楽しく希望に満ちたものとすることができればを豊かで楽しく希望に満ちたものとすることができればを増かで楽しく希望に満ちたものとすることができればを増かで楽しく希望に満ちたものとすることができればを増かで楽しく希望に満ちたものとすることができればを明っております。「知り、だけ、対しています。ショップの一フロアをテーマ別ゾーン展開しています。ショップの一フロアをテーマ別ゾーン展開しています。ショップの一フロアをテーマ別ゾーン展開しています。ショップの一フロアをテーマ別ゾーン展開しています。ショップの一フロアをテーマ別ゾーン展開しています。ショップの一フロアをテーマ別ゾーン展開しています。

ジメガアイテム (全要求全対応) ~知の全領域を網羅し、ショップテーマは八つからなっています。◎フルレン

店をオープンいたしました。

に、ご覧にいれる、そんな自負をもって駸々堂神戸三宮

創りあげることとなりました。神戸という知的近代都市堂は神戸三宮に、そのステージを二十一世紀を見つめて

知的マーケットプレイスとして新たなシーンを皆様

化されてゆくでしょう。多様化・多品化時代のマーケッ

トプレイスは、それにふさわしいステージを求め、駸々

◎インタラクティブ(相互交流)~知的マーケットプレ 〜知的マーケットプレイスの展開趣旨に沿った商材なら 報と陳列場所を速やかに案内します。◎ショッピングコ 運営に反映させることにより固定客(ファン)づくりを フェアを絶えず開催し、新鮮な売り場づくりをします。 年まで生涯を通じて楽しく学ぶことができるよう応援し 店内回遊によって新たな知的興奮が湧出するように演出 夥しい点数の商品で店内を埋め尽くすことによって様々 可能)~流通する全商品の書誌案内および店内の在庫情 します。◎クイックレスポンスオンデマンド(即時対応 イスからの発信だけでなく顧客からの要望を受信し店舗 ます。◎プロポーザル(提案主義)~イベントやブック します。◎エデュティメント(楽学主義)~幼年から老 スト(無尽の知的刺激)~潜在する知的興味を触発し、 書籍、雑誌以外でも積極的に取り入れます。◎インタレ なニーズにお応えします。◎ボーダレス(商材の拡大)

CHEERZONE(チアゾーン)~コミック、児童書、そしてそこから五つのゾーン展開になってゆきます。

適切な応対と親切な接客に力点をおきます。

ンフォート (親切な対応) ~商品充実の追求はもとより、

から研究書までを網羅した「専科ゾーン」です。その中理工書、医学書で構成し細分化された専門領域の入門書といってプレイガイドサービス。ADVANCEZONE(アでプレイガイドサービス。ADVANCEZONE(アドバンスゾーン)〜コンピュータ書、コンピュータソフト、コンピュータサプライ。POPULARITY-ドバンスゾーン)〜ビジネス書、社会科学書、人文書、なるのですが、SPECIALITYZONE(スペシャリティゾーン)〜雑誌、文学、文庫ZONE(ポピュラリティゾーン)〜雑誌、文学、文庫ZONE(ポピュラリティゾーン)〜雑誌、文学、文庫ZONE(ポピュラリティゾーン)〜だ書、大文書、活学、美術芸術。HOSPITALLITYと参考書、語学、美術芸術。HOSPITALLITYと参考書、語学、美術芸術。HOSPITALLITYと参考書、語学、美術芸術。HOSPITALLITYと表表書、語学、美術芸術。HOSPITALLITYと表表書、語学、美術芸術。HOSPITALLITYと

備運動も終盤をむかえているところです。付運動も終盤をむかえているとでも楽しみです。ポワーンうか、又、どう売れるのかとても楽しみです。ポワーン見台も備えました。この環境で人文書をどう売っていこ見た満喫していただきたいと考え、ベンチを設置し、書の人文書はゾーン内の中央部に位置し、知的空間を充での人文書はゾーン内の中央部に位置し、知的空間を充

たい方は駸々堂神戸三宮店に是非一度、遊びに来て下さ明させていただきたく思っております。しかし即、知り管理方式ですが、このシステムの説明は後日、詳しく説商品管理はコンピュータによる単品完全ロケーション備運動も終盤をむかえているところです。

ジュンク堂書店姫路店

何軒もある所への出店に、不安は全く無い訳ではありまの最中でもあり、歩いて数分の距離に古くからの書店がと少しで一年になります。昨年度は神戸三宮本店の復興七日ジュンク堂書店姫路店が全面オープンしてから、あ今や書店戦争の真っ只中にある地域に、九五年五月二

せんでした。

の地域の方々の常識となっていることを知っていたこと専門書を手に入れるためには、神戸・大阪に赴く事がこえも――を手に入れることが日常的に困難であること、しかし、専門書――極めて入門的な基本書に関してさ

(金住康子)

い。お待ちしております。

あることだと感じました。もあり、専門書が手に入る店を創ることは、十分価値が

率の高いことがあげられます。と、専門書の売上げが全体のほぼ四割である位、その比と、専門書の売上げが全体のほぼ四割である位、その比当店の大きな特徴としては、土日型の売上げであるこ

まいます。何のための出店か、ということにもなりかね向かないと本は揃わないという、以前の認識に戻ってしたのに、ご希望の本が無かったり、その後のフォローがたのに、ご希望の本が無かったり、その後のフォローが

御鞭撻をお願い申しあげます。

(上山佳子)

ません。

トワークを日常的に利用して、お客様の注文等に生かせることは到底不可能なので、ジュンク堂各書店間のネッ思っています。また、一店ではすべてを完全にカバーす段置いていない専門書に力を入れなければならないと

るようにしています。

のかたいへん不安の多い出店でした。の商圏ぐらいではたしてこれだけの大型店が維持できるした。加古川市・高砂市・加古郡を合わせても四二万人した。加古川市・高砂市・加古郡を合わせても四二万人う別館の一・二階に計五○○坪という規模で開店致しまう別館の一・二階に計五○○坪という規模で開店致しま

加古川店の出店より少し前に神戸のジュンク堂書店されまり、とに配慮しまんが明石店に続いて姫路にも出店されており、私どもはんが明石店に続いて姫路にも出店されており、私どもはた。両店とも人文・社会・自然科学などの専門書を目た。両店とも人文・社会・自然科学などの専門書を目った。両店とも人文・社会・自然科学などの専門書を目った。両店とも人文・社会・自然科学などの専門書を目った。両店とも人文・社会・自然科学などの専門書を目った。の古店とも人文・社会・自然科学などの専門書を目った。の古代の書を担けるとはとうに攻めても商圏を越える範囲までご来店頂けるとはとうに攻めても商圏を越える範囲までご来店頂けるとはというととで配慮しまが明石店に続いて始めます。

す。売場対比でしたら四・二パーセントにとどまってお

まで追いつきませんが、昨年一二月より本年一月の方が

の売れ行きの方はまだまだ厳しく売上比率は売場の比率のは決して小さな売場ではないと思っています。人文書古川店の商圏人口から需要を予測するなら二一坪というり平台の数では雑誌売場の半分にもなりません。ただ加

台一八台と棚八本で坪数にするとおよそ二一坪になりまらにしました。例えば雑誌売場へ一五〇センチの売場とことを見越してもともと含まれていた自然科学の売場とことを見越してもともと含まれていた自然科学の売場とことを見越してもともと含まれていた自然科学の売場とことを見越してもともと含まれていた自然科学の売場とことを見越してもともと含まれていた自然科学の売場とことを見越してもともと含まれていた自然科学の売場といなくとも二、三年の間は対応できると見ています。それで人文書(教育を含む)の方ですが売場構成は平台一八台と棚八本で坪数にするとおよそ二一坪になりまりにしませい。例えば雑誌売場へ一五〇センチの平台では、少しでも早い段階で成果が現われるようにと比較して、少しでも早い段階で成果が現われるようにと比較して、少しでも早い段階で成果が現われるようにと比較して、少してもおいます。

います。また阪神大震災に関連した専門書は一年を経た悪いなかで保育・教育・歴史書などの売上は伸びてきていために大学生の来店は少なく、哲学・思想など動きが月よりも高くなっています。東播地域には総合大学がな高い売上となっており端境期である二月も日商では一二

日常作業の軽減化をはかっています。の書店さんよりはまだ多い)人員で運営していくためにところで加古川店では思い切った少数(と言っても他

この頃でも売れ続けています。

検索にもひんぱんに利用しています。データを他店と比較しながら見ることができますし商品置致しましたオンラインPCによって前日までの販売か部門分けがずいぶん簡便になっています。合わせて設ですが、バーコードの普及によりお買い上げ額の計算とその一つは会社の方ですすめておりますPOSの導入

存じます。

(高木正明)

渡ししていますが、早ければ本年中にも季節品を除いて本が売れた時は注文カードをちぎって販売会社さんにおるすべての本には常備スリップをはさんでおりません。まないようにしていることです。現に専門書を初めとすいま一つは大型店なのにできるだけ常備寄託は申し込いま一つは大型店なのにできるだけ常備寄託は申し込

新刊配本と担当者へ的確な情報提供をお願い致したいとあれた。とれている出版社のみなさまに加古川店の人文のと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待しています。そして一日でも早く東播地域のおのと期待している出版社のみなさまに加古川店を知って、見て、引き続いてご利用いたがある。

| ――「中間報告書」への反論-出版物再販制度の必要性

一九九五年一二月

紐日本書籍出版協会

础 日 本 雑 誌 協 会

目 次

はじめに

- 2 1 中間報告に対する反論概要 再販制度の必要性
- 3 再販撤廃の根拠となっている四つのポイントに対

する疑問

が抑制されている」のか

「流通システムが固定化し、読者に対する抜本

「寡占的な市場構造がみられ、市場全体に競争

(口)

- 的な改善が行なわれていない」のか
- るために、弊害がある」というのは本当か 「現行の著作物の再販制度が長期にわたってい
- 「出版界は非効率や取引慣行のもとに置かれて

いる」のか

4. 中間報告への反論

(1) 「ブランド間競争は抑制されている」か

(口)

「店頭陳列・品揃えの充実をはかるために再販

制度が必要とは言えない」のか

(4)

「再販制度の下では、店頭陳列・品揃えの充実

- が実際に確保されていない」のか
- 5. (1) 再販制度がなくなると 出版活動の衰退が始まる
- (|| 価格の高騰が起こる
- 諸外国の出版文化政策
- 出版物の文化財としての特性

6.

はじめに

今夏、公正取引委員会(以下「公取委」という)は「政会」の、討議の結果を取りまとめ「再販適用除外が認められている書籍・雑誌等の出間報告」という)という形で公表しました。この中間報告は、再販適用除外が認められている書籍・雑誌等の出告は、再販適用除外が認められている書籍・雑誌等の出情報告」という)という形で公表しました。この中間報情、の、討議の結果を取りまとめ「再販適用除外が認められるがら、「主として、私どもの意見・実情が充分反映されておりませして、私どもの意見・実情が充分反映されておりませして、私どもの意見・実情が充分反映されておりませして、私どもの意見・実情が充分反映されておりませい。

ます。

ような諸点について疑義があるとの結論に達しました。分析し、討議を重ねてまいりました。その結果後述するして、加盟会員の総意を踏まえて改めて問題点の現状を本雑誌協会(以下「雑協」という)はこの中間報告に関私ども日本書籍出版協会(以下「書協」という)・日

べく、中間報告への反論という形で、ここに私どもの意れることを期待し」ているとあります。その趣旨に沿う中間報告にも「この問題についての活発な議論が行わ

見を提出します。

耳を傾けられ、出版物再販制度が維持されるよう要望し者、図書館団体、教育関係者、並びに識者の声に真剣にもに多くの読者はもとより、出版関係者、文芸家・執筆私どもの意見・主張を汲み入れられることを願うとと

1. 中間報告に対する反論概要

す。ついての基本的な考え方・取り組み方に関する違和感でついての基本的な考え方・取り組み方に関する違和感でもって感じたことの第一は、著作物と文化との関わりに中間報告を読んだ業界関係者の誰もが一様に驚きを

読者に十分に供されているか否かという側面に絞って論提があるため、文化についてもその普及のための便益が「主として理論的側面から取りまとめたもの」という前中間報告は独占禁止法という経済法に関する問題を

じられています。

確かに現在の出版界が、注文品の遅さやサービスの悪確かに現在の出版界が、注文品の遅さやサービスの悪なといった問題を抱えていることはご指摘のとおりでさといった問題を抱えていることはご指摘のとおりです。この大量にして多種多様な「文化の普及」を改えているのが再販制度であると私どもは考えています。です。この大量にして多種多様な「文化の普及」を支えているのが再販制度であると私どもは考えています。です。この大量にして多種多様な「文化の普及」を支えているのが再販制度であると私どもは考えています。 です。この大量にして多種多様な「文化の普及」を支えているのが再販制度であると私どもは考えています。 ているのが再販制度であると私どもは考えています。 です。この大量にして多種多様な「文化の普及」を支えているのが再販制度であると私どもは考えています。 です。この大量にして多種多様な「文化の普及」を表表しているのが再販制度であると私どもは考えています。

す。

説得性のある公平な見解とはいえません。というのは、「木を見て森を見ず」の強引な論法であり、部分の問題点をもって、再販制度そのものが不要であるる制度の一側面、一部分にすぎません。その一側面、一ご指摘の出版流通上の問題点は、「文化の普及」を支え

第二点目は、市場メカニズムによる経済効率一辺倒の

を社会の実情に則して考えることが肝要であるはずであります。原則論や形式論ではなく、国家が目指す理念で安全な国民生活、文化の向上など、民主的国家にとって必要な規制をしなければならないケースも少なからずで 安全な国民生活、文化の向上など、民主的国家にとったが、人間を 過過 と 、 一般論として考えることが肝要であるとい方がい をバックにした頑な姿勢です。公的規制は少ない方がい論旨と、規制緩和こそ善であるといった皮相的な原則論

法こそ、硬直的であり画一的ではないでしょうか。法を整えるために現実を切り揃えるべきであるとする論競争政策さえ取り入れればすべてが良くなる、あるいはあるように読み取れますが、果たしてそうでしょうか。あるように読み取れますが、果たしてそうでしょうか。あるように読み取れますが、果たしてそうでしょうか。本事販制度とのものが原則違法なのだから取り外す方向業界にも画一的・硬直的な弊害をもたらしている、しか業界にも画一的・硬直的な弊害をもたらしている、しか業界にも画一的ではないでしょうか。

を阻害し、サービスの低下をもたらしていると指摘して力を怠り、流通システム上で支障を来たし、読者の利便す。中間報告では、再販制度があるために出版業界が努第三点目は、前述しましたような出版流通上の問題で

います。

重ねつつあるところです。うに、私どもは問題の改善に向けて具体的な行動を積みした「読者のための出版流通改善」でも述べていますよ識しています。さきに公取委の事務局を通じて提出しま私どもは流通に関し多くの問題を抱えていることを認

見解を示していただく必要があると考えます。 き察しているのか、等々について実態に則した具体的なた。また再販不要とする積極的理由は何なのか、再販制か、また再販不要とする積極的理由は何なのか、再販制か、また再販不要論は大多数の読者の望むところなのか、また再販不要論は大多数の読者の望むところなのか。また再販不要論は大多数の読者の望むところなのか。また再販不要とする積極的理由は何なのか、再販制度がなくなった場合に著作物に再販制度は不要であると今回の中間報告は、著作物に再販制度は不要であると

2. 再販制度の必要性

ここにいう〝出版〟は出版物(書籍および雑誌)だけを憲法二一条は「言論、出版の自由」を保障しています。

視されがちな少数の知的、政治的、社会的、芸術的表現ス・コミュニケーション時代にあって、ややもすれば無ないところです。また、高度情報化時代といわれる現代ないところです。また、高度情報化時代といわれる現代ないところです。また、高度情報化時代といわれる現代ないところです。また、高度情報化時代といわれる現代ないところです。また、高度情報化時代といわれる現代ないところです。また、高度情報化時代といわれる現代ないところです。また、高度情報化時代といわれる現代ないところです。

分奉仕できるよう著作物に一定の利益や保護を与えるとけ続的に供給できる出版活動を維持することこそ、憲法持続的に供給できる出版活動を維持することこそ、憲法はまさにその知る権利にこたえる道であると思います。出版の自由は、の要請にこたえる道であると思います。出版の自由は、の要請にこたえる道であると思います。出版の自由は、の要請にこたえる道であると思います。出版の自由は、以上の対象を表示のが、出版物の再版はまさにそのための不可欠な制度です。憲法一条は、単に政府が言論活動に干渉しないという消極的保障にとどまらず、国民の知る権利によるといる。

をも可能にする貴重なメディアです。

再販契約の自由を認めることもその積極的保障の一つでいう積極的保障をも意味しています。そして、著作物に

中間報告は「昭和二八年改正法案の審議においては、述しますが、まず再販制度の必要性について述べます。体的問題点」として指摘している点に対しての反論は後中間報告が「著作物に係る現行の再販制度の下での具

考えられる」と述べています。 時点(昭和二八年)では十分なものではなかったものと争を阻害するおそれがあることについての認識は、この設けたと説明されている」とし、さらに「再販行為が競禁止法上問題ないことを確認する趣旨で適用除外規定を禁止法上問題ないことを確認する趣旨で適用除外規定を

無視すべきではないと考えます。作物」として別に規定された趣旨を、そのように簡単にしかし、著作物が独禁法適用除外規定の中で唯一「著

(一九五三年)に独禁法の適用除外規定が設けられたこがらより実状に即したものにしようとして、昭和二八年的な独占禁止法を、外国法制特に西ドイツを参考にしな占領下の昭和二二年(一九四七年)に制定された硬直

とは周知の事実です。

との関係において、他の一般商品とは異なるという認識発な競争があり、一点一点の内容が違い、読者と出版物すが、メーカーである出版社間においてすでに自由で活(一九一九年)からの定価販売の慣行も考慮されたので著作物の再販制をなぜ認めたのか。それは、大正八年

の中に、著作物の適用除外は文化政策の観点から行なう禁法の改正案が国家へ提案された際には、提案理由説明いうドイツ等の影響も見過ごせません。昭和二八年に独の担い手として自由市場にまかせるわけにはいかないとさらに出版物を文化政策の見地から、一国の精神文化があったことは明らかです。

いずれにしても、著作物を指定再販とせずに法定再販という部分がありました。

としていることは重要な点です。

理由を明確にしていないのは遺憾といわざるを得ませの中間報告がその平成三年の認識を一八〇度転回させたには再販制度を許容していたのであり、今回の小委員会(一九九一年)七月に出した再販の方向付けでは、出版物また政府規制等と競争政策に関する研究会が平成三年また政府規制等と競争政策に関する研究会が平成三年

ん

また平成四年(一九九二年)四月に「再販適用除外がな理由が必要と考えられる」のではないでしょうか。としない「国民各層が納得し得るような明確かつ具体的を現時点で否定するのであれば、出版物の再販制を必要昭和二八年当時の認識は別にしても、平成三年の認識

ることは、慎重さを欠いた議論と言わざるを得ませい。 一、価格競争の面だけを取り上げて一般商品と同列に論 その自由が保障された文化政策上も重要なメディアに対 その自由が保障された文化政策上も重要なメディアに対 にという論理に飛躍しています。出版という憲法で特に にという論理に飛躍しています。出版という憲法で特に にという論理に飛躍しています。出版という憲法で特に になることは、慎重さを欠いた議論と言わざるを得ませ

う面では協力関係にあり、その関係を密接にする方が販が互いに対立する面もありますが、読者に販売するといは競争や市場に及ぼす影響は弱いと考えられてい協定」は競争や市場に及ぼす影響は弱いと考えられていは、世界の論調も決して一本にまとまったものではありまた学界の論調も決して一本にまとまったものではありまた。

とは異なるものです。 とも認められなければなりません。再販は価格カルテル売促進に役立ち、ひいては読者にも便利であるというこ

著作物に係る再販制度の検討は、法律の理論的整合性者作物に係る再販制度の検討は、法律の理論的整合性といった硬直的な見方やいわゆる市場経済の論理だけでといった硬直的なものではなく、独自のメカニズムが働いが行なわれるべきであると考えます。なぜなら、市場はが行なわれるべきであると考えます。なぜなら、市場はして出版物にとってとりわけ重要なことは、その市場はは、一個の交換の場であり、可能な限り多様な出版物が店頭に場ってなければならない、ということです。その交換の場であり、可能な限り多様な出版物が店頭に関の交換の場であり、可能な限り多様な出版物が店頭に関の交換の場であり、可能な限り多様な出版物が店頭に関の交換の場であり、可能な限り多様な出版物が店頭に関い交換の場であり、可能な限り多様な出版物が店頭に関い交換の場であり、可能な限り多様な出版物が店頭に関いた。

3.再販撤廃の根拠となっている四つのポイントに対す

ない条件を押しつけられているとの指摘もあります。

で以下にその疑問を述べることにします。度を撤廃する根拠としては納得しがたいものです。そこ点に集約できます。この四点はいずれも出版物の再販制の中で、出版物についての指摘と思われるポイントは四題点として、いくつかの具体的な指摘をしています。そ時間報告は、著作物に係る現行の再販制度の下での問

れている」のか (中間報告P8ア)(小 「寡占的な市場構造がみられ、市場全体に競争が抑制さ

る出版社、あるいは書店が、契約時に画一的で柔軟性のる」との指摘と解釈せざるを得ません。取次と取引きすでは「再販制度が取次主導で運営されている傾向があ一取次において集中度の高い状況がみられるので、ここ書店には市場を独占するようなガリバー企業はなく、唯のか、つまびらかではありません。少なくとも出版社、出版業界における寡占的市場構造とは何を指している出版業界における寡占的市場構造とは何を指している

確かに取次は出版社と書店の間に位置する業態ですかな、基本的に競争原理は働いているといえます。という点でには、取次の主導による方が効率的であることがあります。しかしながら、集中度が高いとはいっても、契約条件が折り合わなければ、他の取次と契約する自由が、出件が折り合わなければ、他の取次と契約する自由が、出件が折り合わなければ、他の取次と契約する自由が、出件が折り合わなければ、他の取次と契約する自由が、出件が折り合わなければ、他の取次と契約する自由が、出件が折り合わなければ、他の取次と契約するといえます。

もとる皮肉な結果になることの方を恐れざるを得ませた場合は、取次にとどまらず、出版社、書店の分野でもおりバー型企業の登場は十分に予測され、かえって寡がリバー型企業の登場は十分に予測され、かえって寡か しろ、再販制度がなくなり、競争本位の業界となっむ。

浅野千恵 女はなぜ やせようとするのか 摂食障害とジェンダー 女性と性をとりまく問 2678円〒310

堀孝彦・梶原寿 編 「内村鑑三」と出会って

題群。

心理学・生態学・倫理学 ・思想史学・宗教学から 鋭く迫る。3090円〒310

神奈川大学人文学研究所 編 ヨーロッパの都市と思想

ヨーロッパ各都市の歴 史的個性を思想の側面 から照射。3811円〒340

生活・生産性研究集団 編 知のフロンティ

異分野からの報告 間の時代」に向けた共 存の論理。2575円〒310

W.F.バーゾール/根本 彰他訳 電子図書館の神話

場所としての図書館と 図書館員の重要性を再 評価する。3502円〒340

[21世紀の都市社会学]全5巻 松本 康編 3708円〒340 ①増殖するネットワーク 奥田道大 編 3708円〒340 @コミュニティとエスニシティ 吉原直樹 編 3708円〒340 ⑤都市空間の構想力

112 東京都文京区後楽 2-23-15 23814-6861 (振)00150-2-175253

(\Box) が行なわれていない」の 「流通システムが固定化し、 読者に対する抜本的な改善

調査報告書」(以下「調査報告書」という)が公表され 公取委が実施した「書籍・ 雑誌の流通実態等に関する

中間報告P9イ)

を対比してみると、 書籍・雑誌の「流通経路別販売比率」 変化が読み取れます。 の変化

再販制度が発足する直前にも行なわれており、

同様の調査は一五年前

(一九七九年)

に現行の

ま

調査結果

うになっています。 (上が昭和五四年の調査、 下が今回 は次のよ

■雑誌におけるCVSル 公取委の調査報告書〉)

Ī

١

の 増

加

(○%→| 五・二%)

変化してきたことを示しています。 (書籍七・五%→一二・八%

このデータは世の中の変化に応じて出版流通の実態

雑誌三・

四%→五

現れており、 さらに、最近ではパソコン通信を利用した販売店ま この他に、 市民生協での共同購入、 ある

∭直販の増加 ■訪問・割販会社ルートの低下 % 〈書籍一二・六%→○・四% 雑誌二・三%→○・□

雑誌における書店ル ートの低下

(六九・○%→五七・二%)

— 39 —

通ルートが固定化されているとは言えません。な流通ルートが開拓されているのが現状です。決して流は出版社から直接宅配便業者経由で購入するなど、様々

のと言えます。

できたもので、この改善努力は「抜本的改善」に近いもできたもので、この改善努力は「抜本的改善」に近いもで言えば、年間五○億冊近い量を毎週、毎月一定の短期できたの内容は多岐にわたります。たとえば雑誌についてもその内容は多岐にわたります。

の物流機能の充実という点です。 ○万アイテムを超える流通点数に対応するレファレンスけの迅速さと効率性を実現しています。ただ問題は、五刊書を中心とした流通システムは、他業界に負けないだ刊書を中心とした流通システムは、他業界に負けないだ利書を発売日や配本量が予めスケジュール化できる新

として刊行を続けています。また、先に公取委事務局を報も、半月に一度の割で「これから出る本」という冊子書店に利用してもらっており、さらに書籍の近刊図書情(一九七七年)から「日本書籍総目録」を刊行し、全国の書店のレファレンス対策として、書協では一八年前

通じて提出しました『読者のための出版流通改善』にもありますように、VANを利用したレファレンス機能のありますように、VANを利用したレファレンス機能のたとして整いつつあります。注文情報もこのネットワークを通じて、ここ数年、格段に早く流通するようになりつつあります。 ところで、流通改善のために数年前かつつあります。 ところで、流通改善のために数年前かっつあります。 ところで、流通改善のために数年前かった。しかし膨大な量の在庫まで含めてバーコードの表示を高めるためには、なお、かなりの時間がかかります。また、バーコードを書籍につけることを拒否するデザイナーや著者などと時間をかけて話し合いを継続しています。流通改善のためのこうした変更ひとつをとってみてす。流通改善のためのこうした変更ひとつをとってみても、様々な考え方があり、大変な面があることにも目を向けていただきたいものです。

割を占める客注品を四、○○○社もの出版社から取り寄効率化が図れず、しかも一日二○○万件もの注文量の一ように配本量や発売日などのスケジュール化や作業上の関し問題となるのは、そのためのコストです。新刊書の読者からの注文品を調達するための物流機能の充実に

恐れは大きいのです。その意味でも、再販制度の維持がの文化性と経済性の両立が難しくなった場合、読者に対る以外にありません。しかし、その充実を図るためにはる以外にありません。しかし、その充実を図るためにはる以外にありません。しかし、その充実を図るためにはる以外にありません。しかし、その充実を図るためにはる以外にありません。しかし、その充実を図るためにはる以外にありません。しかし、その充実を図るためにはる以外にありません。しかし、その充実を図るためにはる以外にありません。しかし、その意味でも、再販制度の発言の文化性と経済性の両立が難しくなった場合、読者に近いすった。

うした事実もあったろうと思われますが、しかし、出版しているケースがあったと指摘されています。確かにそは、出版社が取次と再販契約を交わす際に、理解が不足は、出版社が取次と再販契約を交わす際に、理解が不足弊害がある」というのは本当か(中間報告P87、P9ゥ)弊害がある」というのは本当か(中間報告P87、P9ゥ)

かったはずですが、そのような事実はありませんでしたったはずですが、そのような事実はありませんでしたったり、あるいは疑義を抱いていたりしたのならば、だったり、あるいは疑義を抱いていたりしたのならば、だったり、あるいは疑義を抱いていたりしたのならば、だったり、あるいは疑義を抱いていたりしたのならば、だったり、あるいは疑義を抱いていたりしたのならば、だったり、あるいは疑義を抱いていたりしたのならば、だったり、あるいは疑義を抱いていたりしたのならば、だったり、あるいは疑義を抱いていたりしたのは、各出版社は昭和五四年施されてきた歴史があり、大部分の出版社は昭和五四年施されてきた歴史があり、大部分の出版社は昭和五四年をは、

すから、具体的に説明いたします。大事なところで向にある」という指摘は誤っています。大事なところで出されている「再販制度が取次主導で運営されている傾れますが、実態とは明らかに異なります。そこから導き述は、アンケート調査という設問の限界からとも考えらいとする出版業者が担当程度の割合を占める」という記いとする出版業者が担当程度の割合を占める」という記中間報告の「取次と再販契約を結ばないと出版できな中間報告の「取次と再販契約を結ばないと出版できな

強く望まれます。

必要書類を取り交わすのは当然のことです。出版社と取始するにあたって、基本契約書(取引約定書)その他のそもそも、産業界において、新規に企業間で取引を開

た。

果たします。 果たします。 とのでは、金融の便宜も供して円滑な商品流通を図る機能を 社のために、自らの信用・経験を生かして、場合によっ 行為であり、経済的にみれば、取次は委託者である出版 られた限りなく委託に近い売買(返品条件付き買取り) 次との取引は、法律的にみれば、返品自由の慣行に支え

こうした双方に憤権・債務関係を継続的に負担する取こうした双方に債権・債務関係を継続的に負担する取引の常識からいって当然のことです。その際、これら取引の常識からいって当然のことです。その際、これら取引の常識からいって当然のことです。その際、これら取引の常識からいって当然のことです。その際、これら取引の常識からいって当然のことです。その際、これら取引の常識からいって当然のことです。その際、これら表者の印鑑証明等の必要書類を一括して徴するのは、商表者の印鑑証明等の必要書類を一括して徴する関係を継続的に負担する取いるかのように判断されるのは、全く事実に反していまいるかのように判断されるのは、全く事実に反していまが出来がある。

ケート調査の主旨を理解せずに回答したか勘違いをしたのは、もし、そういう出版業者がいるとすれば、アンないとする出版業者が相当程度の割合を占める」というしたがって、「取次と再販契約を結ばないと出版でき

ものです。

取次に指導されるなどした結果ではないことを付け加え結しており、これは自らの主体的な判断によるもので、九七社、雑協八三社)は、全会員社が再販維持契約を締私どもの会員出版社(一九九五年一〇月現在・書協四

ます。ないという指摘がありますが、この点についても反論しないという指摘がありますが、この点についても反論しさて、部分再販・時限再販がほとんど効果をあげてい

ておきます。

す。

な経験を積み重ねた上で、ここ数年活発化してきていまが安く設定できる特別の書籍が、わずかに出版された程度でしかありません。しかしながら、デパートの催事場度でしかありません。しかしながら、デパートの催事場度でしかありません。しかしながら、デパートの催事場が安く設定できる特別の書籍が、わずかに出版された程が安く設定できる特別の書籍が、わずかに出版された程

マージンを要求します。そのことを満たすためには、出に言って非再販本に対して、書店は値引きをするための現しなかったのは、それなりの理由があります。一般的新刊市場で部分再販を活用した非再販本がほとんど出

版社は非再販本の価格を通常の定価よりも高めに設定せ 場原理に従った結果、部分再販を選択できなかったのだ を言っても過言ではないでしょう。 と言っても過言ではないでしょう。 と言っても過言ではないでしょう。 と言っても過言ではないでしょう。 と言っても過言ではないでしょう。 と言っても過言ではないでしょう。

るために、時限再販にはなじまないのです。物は、断裁もせずに長年にわたってこつこつと売り続け量的には限界があります。例えば専門書出版社等の出版了解を得られた出版物しかバーゲンに出せないために、さらに言えば、時限再販の活用についても、著作者のさらに言えば、時限再販の活用についても、著作者の

参・教科書などそれぞれの分野毎に異なる出し正味(卸一の出版社から発行されている雑誌・文庫・一般書・学ば、画一的・固定的という指摘はあたっていません。同出版社・取次・小売業者間の取引条件について言え

ら、他社との販売競争に負けないよう様々な工夫をしていてす。しかしこうした格差は、問題がありながらも市いです。しかしこうした格差は、問題がありながらも市場原理が反映したものであると言えるのです。もう一言場原理が反映したものであると言えるのです。もう一言場原理が反映したものであると言えるのです。もう一言場ので対して、販売促進費を付けたり返品のフリー入帳を認めたりする等書店のインセンティブを引き出しながといいです。しかして、出版社は異なると、同価格)が設定されています。また出版社が異なると、同価格)が設定されています。また出版社が異なると、同

□ 「出版界は非効率な取引慣行のもとに置かれている」の

(中間報告P9エ)

か

います。

て、相当の水準という指摘がなされているものと思われについては、『調査報告書』の一八頁の数字を念頭に置いているという指摘があります。しかし、本は内容で売れているという指摘があります。しかし、本は内容で売れているという指摘があります。しかし、本は内容で売れているものです。内容が読者の期待に反したものをいくら値をいるという指摘がなされているものと思われているという指摘がなされているものと思われているという指摘がなされているものと思われているという指摘がなされているものと思われているという指摘がなされているものと思われているというに関係がある。

では四・四二%という数字となります。 では四・四二%という数字となります。しかしながら、再出割ったというように読み取れます。しかしながら、再出割ったというように読み取れます。しかしながら、再出割ったというように読み取れます。しかしながら、再出割ったというように読み取れます。しかしながら、再出割ったといますが、その算出方式は、部数を発行金額でな方式で算出しますと、平成五年(一九九三年)の調査な方式で算出しますと、平成五年(一九九三年)の調査な方式で算出しますと、平成五年(一九九三年)の調査な方式で算出しますと、平成五年(一九九三年)の調査な方式で算出しますと、平成五年(一九九三年)の調査な方式で算出しますと、平成五年(一九九三年)の調査を持ついます。

裁と表現しています。 再生紙の原料となるので、私どもは廃棄と言わずに、断わし、残りは断裁します。断裁された出版物の大部分は物は、条件が整ったものを非再販本としてバーゲンにま文、書店からの注文に備えます。最後に売れ残った出版土は、返品された出版物は改装して読者からの注出版社は、返品された出版物は改装して読者からの注

4. 中間報告への反論

(イイ 「ブランド間競争は抑制されている」か

こっていなかったと認識しています。出版物の価格につ 実に多くの分野で、ライバルが存在し、価格・品質 庫・新書・コミック・辞書・実用書・児童書・学参など 九、消費者物価が一八○となっています。このことから 平成五年(一九九三年)には書籍が一三一、雑誌が一五 いては、『出版物再販制の意義』の中で述べましたよう 果、読者は質のいい出版物を、安い価格で購入できます。 サービスの面での競争が激しく行なわれます。その結 しながら、少しでも安い定価を設定します。雑誌・文 ては、価格を決定する際に、類似書の定価を必ず参考に いる恐れがあるのでしょうか。少なくとも出版物におい が、中間報告にあるようにブランド間競争まで抑制して に、昭和五○年(一九七五年)の指数を一○○として、 わが国の出版業界ではこれまでに再販制度の弊害は起 再販制度はブランド内競争を制限するシステムです 中間報告P8ア)

なわれた結果がこうした数字になったのです。も、出版物は物価の優等生であり、ブランド間競争が行

要とは言えない」のか(中間報告P16ア)の「店頭陳列・品揃えの充実をはかるために再販制度が必

読者にとって大きなメリットである店頭陳列あるいは

度」に負っています。二月に提出した『出版物再販制の品揃えの充実という問題は、返品ができる「委託販売制

です。

劣化しないため、委託販売制度が効率的に運用できるの

のような純粋な委託販売を実施して価格拘束をすること営できるほどの資金力はありません。そうしますと、こ国の書店に大部分の商品を委託し、販売後に集金して経弱いので、価格拘束をかけることができません。また全ます。しかしながら、出版業界はメーカー数が多く力がでの委託販売は再販制度ではなくても理論的には成立し制度はほとんど不可能となってしまいます。純粋な意味と、値崩れしないことを前提に成り立っている委託販売意義』の中でも述べましたように、再販制度がなくなるのような純粋な委託販売を実施して価格拘束をすること

の実現なのですから、再販がなくなったら委託が広範にもともと再販制度を廃止する最大の目的な自由価格制

の実現の可能性はほとんどないと言えます。

す。別の面から言えば、再販制度によって長期間価格が現実がどう変化するかという見通しの問題とは無縁で売はできるというのは単なる机上の「理論」にすぎず、ずす意味がないのです。つまり再販をはずしても定価販たって価格拘束が頻繁に行なわれるのであれば再販をは残るはずはありませんし、純粋な委託販売制度が行きわ

が販売の主流となることが予測されます。ることになるとともに、返品枠をかなり狭めた買切制度流通側に対して価格競争に耐えられるマージンを提供すしたがって、再販がなくなると自由価格制に移行し、

引用します。
引用します。
以下に資料に基づいて若干の例を
減ることとなります。以下に資料に基づいて若干の例を
いものは、棚にも置かなくなり、新刊の仕入れも大幅に
いものは、棚にも置かなくなり、新刊の仕入れも大幅に
とれば慎重になります。書店では専門書等の売れ足の遅

(一九九五年一月期決算のアニュアルレポート) は、全米アメリカ最大の書店チェーン、バーンズ&ノーブル社

国書店新聞一一一○号・竹内和芳氏報告より〉。トル数は、六万点から一七万五千点ということです〈全パーストア(約三○○坪から一、三○○坪)の在庫タイ四八州に九六六の店を展開していますが、その中のスー

現在のように充実した品揃えは望めなくなります。す。再販制度がなくなれば、売れ筋中心の品揃えになり、その結果豊富な種類の出版物が展示されていると言えます。このことは、やはり日本では再販制度に支えられたす。このことは、やはり日本では再販制度に支えられたす。このことは、やはり日本では再販制度に支えられたす。このことは、やはり日本では再販制度に支えられたが国の超大型書店(約八〇〇坪から一、〇〇〇坪)

意味があるのかを述べます。 意味があるのかを述べます。 意味があるので、それによって多数の小売店が維持されれば、購入の利便性を増すことは事実であると指摘しれれば、購入の利便性を増すことは事実であると指摘しれが、廃業に追い込まれる書店が増加し、購入できるポイントが減少することは、再販制がはずれて競争が激化する効果があるのかを述べます。

歩いていける範囲に書店があることは、児童や高齢者

献が、再販制度によって維持されているのです。 世界者の支えにもなっています。最近では共同仕入れた。このような町や村の小書店の果たしています。毎月一冊の雑誌を配達してもらうことを楽しみにしている高齢者の雑誌を配達してもらうことを楽しみにしている高齢者の対話を配達してもらうことを楽しみにしている高齢者の対話を配達してもらうことを楽しみにしている高齢者の対話を配達してもらうことを楽しみにしている高齢者の対話を配達してもらうことを楽しみにしている高齢者の対話を配達してもらうことを楽しみにしている高齢者の構造を関係しているのです。

ており、近所の書店の利用度の高いことが示されていまいた「全国読者意識調査-一九九六年〈速報版〉」(一なった「全国読者意識調査-一九九六年〈速報版〉」(一なった「全国読者意識調査-一九九六年〈速報版〉」(一なった「全国読者意識調査-一九九六年〈速報版〉」(一なった「全国読者意識調査-一九九六年〈速報版〉」(一なった「全国読者意識調査-一九九六年〈速報版〉」(一なった「全国読者意識調査-一九九六年〈速報版〉」(一なった「全国読者意識調査-一九九六年〈速報版〉」()の行なった「全国により、近には、1911)の行なった。

す。

した。 さらに中間報告は同じ部分で、マージンと品揃えにつ さらに中間報告は同じ部分で、マージンと品揃えにつ さらに中間報告は同じ部分で、マージンと品揃えにつ さらに中間報告は同じ部分で、マージンと品揃えにつ

中間報告は、読者は自らが必要とする書籍を一般書店確保されていない」のか(中間報告Pワァイ、ウ)バ「再販制度の下では、店頭陳列・品揃えの充実が実際に

うのが一般的です。このような書店では流通している五うのが一般的です。このような書店では流通している五いると述べていますが、漠然と一般書店とのみでどの程度の規模の書店を指しているのか、そしてどのような出度の規模の書店を指しているのか、そしてどのような出度の規模の書店を指しているのか、そしてどのような出度の規模の書店を指しているのか、そしてどのような出中間報告は、読者は自らが必要とする書籍を一般書店中間報告は、読者は自らが必要とする書籍を一般書店

○万点すべてを置けるはずもなく、品揃えで限界がある ○万点すべてを置けるはずもなく、品揃えで限界がある のはやむをえないことです。しかし、雑誌・文庫・コ のはやむをえないことです。しかし、雑誌・文庫・コ を取り寄せてもらうなど、自らの必要に応じて行動する を取り寄せてもらうなど、自らの必要に応じて行動する ものです。

んどん拡大しています。成果が現れているケースでは、注文品を迅速に届けるために出版VANの利用が現在ど改善を図っていく計画です。在庫照会に正確に対応し、『読者のための出版流通改善』の中で述べているようにいかないことがあることなど、改善を必要とする点がいいかないことがあることなど、改善を必要とする点がいいかないことがあること、あるいは在庫照会がうまくり寄せに時間がかかること、あるいは在庫照会がうまくりおしてがら、読者の指摘にあるように、注文品の取しかしながら、読者の指摘にあるように、注文品の取

ます。
きました。もちもん在庫照会も端末の画面で即座にできたまの日数に二日をプラスした日数で届くようになってれらの日数に二日をプラスした日数で届くようになってに無く出版社にある場合で五日以内、週末を挟んでもこ書店が注文した書籍が取次にある場合は三日以内、取次書店が注文した書籍が取次にある場合は三日以内、取次書店が注文した書籍が取次にある場合は三日以内、取次書店が注文した書籍が取次にある場合は三日以内、取次書店が注文した。

し、その方向で改善が進みつつあります。

中小規模の書店が多いために、送品された多数の書籍を改善をしても、POSデータで書店の販売実績が把握で改善をしても、POSデータで書店の販売実績が把握で改善をしても、POSデータで書店の販売実績が把握で改善をしても、POSデータで書店の販売実績が把握できるようになれば、書店の実情に合った送品が和とず、上長期間陳列することができず、早期に返品されるのが一長期間陳列することができず、早期に返品されるのが一

していくものと思われます。誇る大型書店が、地域の読者のニーズを満たしつつ定着ています。将来は全国の主要都市には、多様な品揃えを他方大型店の出店は様々な問題を孕みながらも、増え

書店に多くの書籍が行き渡ることは困難になっている」国書店総数を大幅に下回っているため、この面からも、中間報告には、「書籍一点当たりの平均発行部数は全

新刊案内などで自社の常備店や特約店リストを掲載する新刊案内などで自社の常備店や特約店リストを掲載するともかく、専門書等では極めて少数の読者しか想定できともかく、専門書等では極めて少数の読者しか想定できともかく、専門書等では極めて少数の読者しか想定できともかく、専門書等では極めて少数の読者しか想定できという指摘があります。このことは、再販制度がなくてという指摘があります。このことは、再販制度がなくて

制度と関係ないことと理解していただけるはずです。疑問がある」という中間報告で述べられた懸念は、再販とっての購入の機会と利便性が実際に確保されているかりながらも、継続的に改善努力がされています。「読者に再販制度の下で生産・流通・販売の各段階に問題はあ

5. 再販制度がなくなると

イ 出版活動の衰退が始まる

先に述べたように、現在の出版活動は再販制度に支え

_ ..

等の努力を続けています。

困難になります。 困難になります。 困難になります。 は、 なり、企画段階で激しく吟味されて世に出ます。このよなり、企画段階で激しく吟味されて世に出ます。このよなり、企画段階で激しく吟味されて世に出ます。このよるない、 という事態も起こるわけです。したがって、再 がない、という事態も起こるわけです。 という事態も起こるわけです。 したがって、再 がない、という事態も起こるわけです。 したがっというまであることに の経済的責任は最終的に出版社が負うため、読者の共感 の経済的責任は最終的に出版社が負うため、 にはます。このよ

全画が成立しにくくなります。 のわけ売れるために長い期間を必要とする専門書等は、 り、このようなことが繰り返されると、出版企画は萎縮 れが抑制されます。出版社の企画は、当然販売優先にな り、このようなことが繰り返されると、出版企画は萎縮 を得ず、取次や書店が売れないと判断したものは仕入

を享受している読者の選択の幅が少なくなることを意味ての言論・出版・表現の自由の幅を狭め、多様な出版物版社も減ってしまいます。このことは、出版活動を通し結果出版のジャンルが狭まって、発行点数も減少し、出出版物はどうしても売れ行き良好な分野に偏り、その出版物はどうしても売れ行き良好な分野に偏り、その

します。

回 価格の高騰が起こる

かに高くなるでしょう。 学に耐えられる高マージンを要求することになります。 学に耐えられる高マージンを要求することになります。 えて再販制度がないわけですから、取次や書店は価格競 確保するために、価格を上げざるを得なくなります。加 発行部数が減少すれば、それに対応して最低の利益を

また現在は取次会社の努力によって、共同輸送などのまた現在は取次会社の努力によって、共同輸送などのように地方の価格も首都圏と同一という形が維持できなれば、このような同一価格の維持は危機に直面せざる出版物を同一の定価で購入できます。価格競争が激しく出表で輸送コストの圧縮が実現しており、地方の読者もまた現在は取次会社の努力によって、共同輸送などのまた現在は取次会社の努力によって、共同輸送などのまた現在は取次会社の努力によって、共同輸送などの

た面でも不利益を被ります。これらのことから、地方の市かその周辺に限られ、それ以外の地域の読者はこうし読者は、大型書店や量販書店が立地できる人口の多い都再販制度がはずれた場合、値引きの恩恵を受けられるなくなる恐れが大きくなります。

[224 頁・四六判・上製本・カバー装の原価試算モデルーー般書の場合]

(224 貝・四八刊・工製本・カハー表の原価武界モアルー一般音の場合)											
部数	2,000 部	2,500 部	3,000 部	3,500 部	4,000 部						
一冊当たり直接原価 (印税・諸経費を除く)	762. 24 円	646. ³² 円	563. ⁸² 円	513. 66円	468. ⁷⁸ 円						
いくらの定価なら初刷 りで採算が取れるのか		' ' ' '	, ,								

解ができます。 影響が出るのか、上の表からも理

諸外国の出版文化政策

いるのが実情です。

では公共図書館が一五、〇〇〇館の中でも触れましたが、アメリカ述べます。『出版物再販制の意義』で、専門書等の出版事情についてる、専門書等の出版事情について

を超えており、日本の約七倍の数

フランスでは一九八二年一月一日から、再販制度を復

えているために、専門書等の出版は基盤が安定していま図書館がハードカバーの初刷三、〇〇〇部前後を買い支となっています。このような公共図書館の存在と、大学

とになります。

読者は割高な出版物を購入するこ

機会均等というような観点から

す。

都市と地方で価格格差が生じ

私どもは、文化の普及、教育の

一般読者に購入してもらい、かろうじて経営が成立して現状です。各出版社は、残りの書籍を長い期間をかけてれている程度です。また、公共図書館のみならず大学図れている程度です。また、公共図書館のみならず大学図館を合わせても、せいぜい数百部程度の専門書が購入さ館を合わせても、せいぜい数百部程度の専門書が購入されている程度です。また、公共図書館のみならず大学図がです。各出版社は、、大学や短大等の図書く、しかも予算も不十分なために、大学や短大等の図書く、しかも予算も不十分なために、大学や短大等の図書く、しかも予算も不計が表している。

再販制度の撤廃には賛成できませす。そのような可能性が高くなるることは避けるべきだと考えま

至っています。 議をパスしたものに助成金をつけるようにし、現在に守る観点から、いわゆる良書出版に対して、委員会の審守る観点から、いわゆる良書出版に対して、委員会の審でいます。この国では今から二五年程前に再販がはずさ

る」と言っています。 は、多様な出版物を明示された価格で購入することにあしてその育成をはかるべきものであり、消費者利益とにゆだねるべきものではなく、文化の一翼を担うものと明確に位置付けて「書籍は一般消費物と同時に市場原理書籍の再販制度を復活した法律を文化政策の一環として活しましたが、当時のジャック・ラング文化相は、この活しましたが、当時のジャック・ラング文化相は、この

があげられたことが画期的でした。ました。その承認理由に出版物の文化財としての特殊性の、国境を越えた出版物再販制を承認することを決定し圏三カ国すなわちドイツ、オーストリア、スイスに共通圏主たEU委員会は、一九九四年七月二九日にドイツ語

す。

6. 出版物の文化財としての特性

義思想を手にしたのも「新聞」や「雑誌」あるいは「書古来より多くの人々に読まれてきました。人々が民主主こに表現された思想、アイディア、考え方、論理などが出版物は文字を紙に印刷したものにすぎませんが、そ

籍」を通じてでした。

れる媒体は、教科書や参考書、あるいは一般の書籍や雑

出版物が果たしている役割は基本的でかつ大きなものでは割は大きいものがあります。前にも指摘したように、歴史的に見て、わが国はもちろんのこと、世界各国に歴史的に見て、わが国はもちろんのこと、世界各国にを出版物が文化、教育、情報に関して果たしてきたおいて出版物が文化、教育、情報に関して果たしてきたの国民が吸収したからではないでしょうか。

最も安価に、最も便利に、いつでもどこでも知識を得ら見たの目的となっています。しかし、その能力が教育の効果としてより重要なことは、人々が過去についての知識、としてより重要なことは、人々が過去についての知識、としてより重要なことは、教科書の他に、コンピュータな出ものような本を読むところまで高められることにあり出せるような本を読むところまで高められることにあり出せるような本を読むところまで高められることにあり出せるような本を読むところまで高められることにありといいでもどこでも知識を得られどん減少するように見えるかもしれません。しかし、私どん減少するように見えるかもしれません。しかし、私どん減少するように見えるかもといいでも知識を得られどん減少するように見えるかもといいます。

誌ではないでしょうか。

お代が変化しても重要性がうすれることはありませり、時代が変化しても重要性がうすれることはありませす。この文字の根幹的要素ゆえに、メディアが発達したす。この文字の根幹的要素ゆえに、メディアが発達した

でしょう。人間が動物と決定的に異なるのは、ことばををも続くことでした。出版物は、歴史的に見て大きなものがあります。それはこれかは、歴史的に見て大きなものがあります。それはこれかは、歴史的に見て大きなものがあります。それはこれかは、歴史的に見て大きなものがあります。それはこれかは、歴史的に見て大きなものがあります。それはこれかは、歴史的に見て大きなものがあります。それはこれからも続くことでしょう。もちろん、文化は芸術や音楽やらも続くことでしょう。もちろん、文化は芸術や音楽やらも続くことでしょう。もちろん、文化は芸術や音楽やらも続くことでしょう。もちろん、文化は芸術や音楽やらも続くことでしょう。もちろん、文化は芸術や音楽やさい存在でした。出版物はいわば文化にとって、基礎あるいは土台に相当する位置を占めていると言ってもいいる。

出版物が広く急速に人々に普及し、学問や知識や情報やたしました。そしてグーテンベルクの活字の発明以来、とができたために、人間の文明、文化は飛躍的に発展いと言われています。さらにことばを文字に置き換えること言われています。

文化に対する我々の責任でもあります。

立とは経済効果の上では肯定できても、そこに生息することは経済効果の上では肯定できても、そこに生息するに、元には戻りません。それと同じように、再販制を廃は、元には戻りません。それと同じように、再販制を廃は、元には戻りません。それと同じように、再販制を廃け、元には戻りません。それと同じように、再販制を廃け、元には戻りません。それと同じように、再販制を適け、のちは、元には戻りません。それと同じように、再販制を復活してもあります。

手に入れて相互に意思疎通ができるようになったからだ

ても、変わらぬ位置を占めています。

とっての役割は、多様なメディアが出現した今日におい

このように出版物が歴史的に果たしてきた文化形成に

思想や文学が根付くようになりました。

に到達するものと期待しております。そのような作業を経れば、必ず私どもと同様の結論レーションを慎重に積み重ねていただきたいと考えま

以 上

ここに、追加のご報告をさせていただきます。○友朋堂書店本店 準特約店(北関東ブロック)・「人文会ニュース 七四号』(九五年一二月)に「第一一回特別人文会ニュース 七四号』(九五年一二月)に「第一一回特

人文会会員名簿

(〒111 台東区蔵前 2-5-3 筑摩書房内) 1996. 4. 現在

		AI 67	Art NV Hz	_	=r -t- lib	S SI DAY	
		社名	担当者	₹	所在地	電 話 FAX	
		青木書店	古川清	101	千代田区神田神保町 1-60		
		大月書店	原田 敦雄	113	文京区本郷 2-11-9	3813-4651 3813-4656	
		御茶の水書房	平石 修	113	文京区本郷 5-30-20	5684-0751 5684-0753	
幹	事	紀伊國屋書店	安藤 正	156	世田谷区桜丘 5-38-1	3439-0128 3439-3955	
		勁 草 書 房	氏家 富男	112	文京区後楽 2-23-15	3814-6861 3814-6854	
幹	事	社会思想社	清水 博	113	文京区本郷 3-25-13		
					中銀本郷3丁目ビル	3813-8105 3813-9061	
		春 秋 社	鈴木龍太郎	101	千代田区外神田 2-18-6	3255-9611 3253-1384	
		晶 文 社	島田孝久	101	千代田区外神田 2-1-12	3255-4501 3255-4506	
幹	事	誠信書房	濱地 正憲	112	文京区大塚 3-20-6	3946-5666 3945-8880	
		創 元 社	重光 義彦	162	新宿区山吹町 334-11	3269-1051 3269-1092	
		草 思 社	浴野 英生	150	渋谷区神宮前 4-26-26	3470-6565 3470-2640	
代表韓	幹事	筑 摩 書 房	菊池 明郎	111	台東区蔵前 2-5-3	5687-2680 5687-2685	
		東京大学出版会	吉田 信夫	113	文京区本郷 7-3-1		
					東京大学構内	3811-8814 3812-6958	
幹	事	日本評論社	後藤 光行	170	豊島区南大塚 3-12-4	3987-8621 3987-8590	
幹	事	福村出版	土屋知可夫	112	文京区小石川 1-3-17	3813-3981 3818-2786	
		平 凡 社	丸山 正美	152	目黒区碑文谷 5-16-19	5721-1234 5721-1239	
		法政大学出版局	市川 昭夫	162	新宿区市谷田町 2-14-1	5228-6271 5228-6010	
		みすず書房	福田 晴行	113	文京区本郷 5-32-21	3814-0131 3818-6435	
		ミネルヴァ書房	杉田 啓三	607	京都市山科区日ノ岡堤谷町	Ţ 1	
					(075) 581–5191 (075) 581–0589		
				162	新宿区市ケ谷山伏町 5	3267-3849 3235-9539	
		未 來 社	吉田 哲夫	112	文京区小石川 3-7-2	3814-5521 3814-8600	
幹	事	雄山閣出版	武 一雄	102	千代田区富士見 2-6-9	3262-3231 3262-6938	
		有 斐 閣	田村 謙二	101	千代田区神田神保町 2-17	3265-6811 3262-8035	
		吉川弘文館	阿部 昇	113	文京区本郷 7-2-8	3813-9151 3812-3544	

販売企画委員会 ◎清水 ○吉田(信) 古川 氏家 福田 杉田 調査・研修委員会 ◎濱地 ○平石 原田 浴野 市川 図書館委員会 〇島田 安藤 田村 阿部 弘 報 委 員 会 ◎土屋 ○鈴木 重光 丸山 吉田(哲)

ミネルヴァ書房

●ペンギン・ブックス『社会学辞典』 ●伝統的なヨーロッパ社会学を基礎とし、)研究上不可欠な文献(欧文・邦訳)や、原著には社会における様々な現象や徴候を分析。 ない主要項目分類表、欧文・和文索引等を付し 初学者から研究者まで多様なニーズに対応。 (第三版9年12月)の日本語版。

N・アバークロンビー 丸山哲央 監訳·編集 世紀の社会学 /S·ヒル/B·S·ターナー著 四六判上製・函入・総頁 の最新版

〒607 京都市山科区日ノ岡堤谷町1番地 T E L 075-581-0296 振替01020-0-8076

法政大学出版局

〈表示価格は税込〉

新村拓 B・エーレンライク他/長瀬久子訳 H・ブレーデカンプ/藤代幸一・津山拓也訳 古代憧憬と機械信仰 魔女・産婆・看護婦

むことの意味を歴史的に考える。二九八七円す現代の生殖技術の発展までを展望、子をに出産の情景の変遷、性と生殖の分離をもたら、仕愛・受胎・出産をめぐる古来の考え方から

殖観

中

Ⅰ・Ⅱ〈の文化史店〉(Ⅱ)ニ四七二円 (第49回)毎日出版文化賞受賞! 二六六円 兩 162 東京都新宿区市谷田町2 203-5228-6271

欧米社会学の全容を読 t

★九五年度

上村忠男著

る反場所、ヘテロトピア。サイード、三木清、ヘーゲル等をめぐ 実在の場所でありながら他のすべての実在の場所に異議を唱え って、ヘテロトピア的立場から近代知を批判する。◎2884円 虚構の P・ラクー = ラバルト著/ ワーグナーのフィギュール)ドイツ近代国家の神話を創出する 楽 アの思考 、谷口博史訳

アドルノを脱構築する。●3399円

魅了されつつも抵抗したボードレール、

マラルメ、ハイデガー、 ワーグナーの野望に、

東京都文京区小石川3-7-2 (03)3814·5521 (価格は税込)

みすず書房

陽気な哀しさに満ちた現代の古典。近藤真理訳 ジャコメッティ

二四七

手帖・手紙の新資料をも集成。宇佐見・武田編 矢内原伊作 幻の書『ジャコメッティとともに』新版に日記 四九四四円

東京・文京・本郷3-17-15 🕿 03-3814-0131

一九五七円

ミラン・クンデラーディドロの小説を自由に変奏した戯曲。

ジャックとその主

心のケアは? その推移を描くルポルタージュ。二〇六〇E中井久夫他 阪神大震災から一年。被災者は、神戸の町は、

二〇六〇円

災厄の年の記録

歴史家は、 64名が、 てきたか、それぞれの学問の原点を語る。第一線の歴史家 通して同時代をどのように認識し、 永原慶二・ 率直なエッセイで綴る戦後史学史への証言集 激動の戦後をいかに生き、 中村政則 編 四 自らの学問に反映し さまざまな体験を 六判 /2266円

吉川弘文館

東京都文京区本郷7-2-電03-3813-9151

図解日本 所 功著●元号制 死 ・元号制 十手·捕! 忍者の 山口 質儀の 正之著 元号制度の史的研究 歴 生 縄 申 史 活 史 事 胄 典 0 0 ●生活史叢書 事 雄 雄 0 山閣 山閣 典 江戸町奉行所の装備と逮捕術 ラ フ 増 " " 補 2 クス3 ス 22 五 五 九七四 五〇〇円 九

二五〇〇 八〇〇円 Ř

〒102 東京都千代田区富士見2 ☎03(3262)3231 雄山閣

七 四

円

円

振替・00130-5-1685 *価格は税込

降[編]

は主義の没落と存在主義の復興■

-ゲルとマルクスの同一性論の再検討にも とづいてマルクスの存在主義を再発見し、その 現代的意義を提唱する。 ¥5150

-ター・シンガー 「著]

■精神の冒険■

生命倫理学の鬼才P・シンガーが読み解く新た な哲学の世界。「歴史哲学」からヘーゲルの 全体像へと迫るテキスト。島崎 隆●駅¥2575

青木書店

東京都千代田区神田神保町 1-60 TEL [03] 3219-2341 FAX [03] 3219-2585

(定価は税込み) 第127日:03-3265-6811

羅洛 社会史の形成と主な領域を解説。社会史研究の魅力が伝わる。 を当了る 最期の日々を輝いて 定価一八五四円 ホスピスの現場から人間らしい死を考える。 経済人類学の基礎とその可能性を示す。 (有雙層選書) 定価二一六三円竹岡敬温・川北 移編 定価一六四八円(有斐閣選書)

100

藤原 彰 本多勝 第十三師団山田支隊兵士の陣中日記 彰編 には、どんな事実が記されていたか?粘り わった兵士たちが書きつづった自筆の日記 強い探索によって歴史の実像がよみがえる 万数千にのぼる捕虜の「処理」に直接かか

へ虐殺を記録

●現代史の争点に最終決着をつける資料隼

46判上製 定価6000円

東京都文京区本郷2-11-9 電話03(3813)4651〈代表〉

言芳談」を読む

吉本隆明〈解説〉大橋俊雄〈訳注 の浄土系の思想家(僧侶)30余人の、「死」についての法然のような大思想家から無名の念仏者に至る中世 衝撃的な語録的条をあつめた短章集。 1 9 5 7 円

春秋社 台第5都千代田区外神田2-18-6 43255-9611振替00180-6-24861

全10巻

半世紀にわたる対談座談を集成。21世 紀を生きる思想の種子がここにある。 四六判・平均450頁・定価各3800円

●全10巻

美術館〉を書き続けた男の半生を偲ぶ。

39-4円

●回想の現代画廊刊行会編 独自の審美眼で△気まぐれ

現代画廊

Ě

● 宝口を 日本人とは何だろうか(3刷) 思想とは何だろうか(2刷) 学ぶとは何だろうか(3月刊) 近代とは何だろうか(4月刊) 文化とは何だろうか 家族とは何だろうか 家族とは何だろうか 民主主義とは何だろうか 社会とは何だろうか 国境とは何だろうか

晶文社

東京都千代田区外神田2-1-12 電話03(3255)4501(定価税込)

社会思想社

矢沢寛ほか

45判上製・

(上中下)各五五〇〇円

日本初の流行歌歴史事典 田山力哉著 新時代の旗手・彭明敏自伝 映画とパリの魅力 話題作●二〇〇〇円 大好評重版出 八〇〇円

東京都文京区本郷3 ☎03-3813-8101

サイエンス・マスターズ

全22巻 第2回配本

が起こっていたのか。時間の始まりは?始まりの生まれたばかりの宇宙には一体どのような出来事 謎を解く宇宙創世のミステリー。 ジョン・バロウィ 宙 一が始まるとき /松田卓也訳 定価1800円

骨が明らかにする人類の起源。 独自の「人間らしさ」を獲得していったのだろうか。 動物からヒトへ、 人間に ヒトから人間へ。

定価1800円 私たちはいつ 馬場悠男訳 リーキー チャード

〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-26 電話 03(3470)6565

P. J. マホーニィ著 北山 言語学と文芸批評の手法を用いてフロイ トの「肉声」の再現を試みる刺激的書。 フロイトの著作を読むこと自体が精神分 析体験そのものとなると主張。 3605円

心理学を初めて学ぶ人のために、各領域 の基礎的な事項をコンパクトにまとめた 入門書の決定版。豊富な図表やイラスト で飽きることなく知識が身につく。1545円

東京都文京区大塚3-20-6 誠信書房 TEL.03-3946-5666

存在様式を 原章二 《類似》の可能性を現在に甦らせる力作批評。 の可能性を現在に甦らせる力作批評。 2400円 差異と同一性によって分解され排除されてきた 「風土学」の視点から分析する。 宮原信・荒木亨訳 日本の都市の捉えがたい

市論を実証的に展開した新しい歴史の提唱。 非農業民による交流と文化の場=日本中世都 市 4800円

筑摩書房

2900円

所作から共同体

電話048-651-0053(サービスセンター) *定価税込

科学的手法で解明する性格の謎 性格はなぜ人それぞれ違う のか。自分は、他人はどんなタイプか など、性格をめぐるあらゆる疑問に答 える「性格心理学」の入門書。1300円

赤ちゃんを

マタニティ・ブルーをのりこえる12章 クレイマン十 ラスキン著 村本邦子十 子育てに疲れ、夫への不 満でストレス 100 %のお母さんに贈る アドバイスとワークブック。 1800円

創元社大阪市中央区淡路町4·3·6 創元社東京都新宿区山吹町334·11

1996年 4 月20日発行 年 3 回発行 第75号 発行所 人文会 筑摩書房内 〒111 東京都台東区蔵前2-5-3